

ブラジル薬用植物要覧

# ブラジル薬用植物要覧

平成5年3月  
1993年

国際協力事業団サン・パウロ事務所  
農業情報室

S	P
J	R
93-2	

93  
99  
SP

LIBRARY

JICA LIBRARY



1116590(9)

# ブラジル薬用植物要覧

平成5年3月  
1993年

国際協力事業団サン・パウロ事務所  
農業情報室

国際協力事業団

26927



## まえがき

本要覧は、当事務所農業情報室が、1993年2-3月にかけて、大学、研究所、試験場、生薬ディーラー、企業的栽培ほ場、薬草、無農薬野菜栽培集団等を訪問、調査し、その資料を整理したもので、構成は、次の通りである。

第1章は、ブラジルの薬用植物に関する基本的情報、つまり、沿革、生産、流通、研究機関とその研究内容、今後の動向についてまとめた。

第2章は、今日のように、野生の薬草木の採集、採取を続けていけば、いずれ絶滅の事態をむかえるわけで、かつ、生薬企業、消費者のいずれにとってもコスト高につく。今後は、栽培条件下に移行するのが望ましく、現在各地で行われている栽培事例について、その概略を解説した。

第3章は、市場に流通している280種の薬用植物について、一般名、学名、科名、地方名、生態性状、利用部位、化学成分、薬効、用法用量についての情報を要約したもので、本要覧の中心部分にあたる。ブラジル薬局方に収載されている生薬は、別名の欄に、輸入原料は、利用部位の欄に示した。なお、現在試験中のものも加えた。

第4章は、同一植物が、地方により、まったく見当のつかない別名でよばれており、また同一植物名が異なる植物に与えられている場合が多く、検索に不便であったので、収集した約1,000の地方名から280の植物名が、また属名から植物名が、そして、科名の日本名を、すぐ検索できるように索引をもうけた。

図版は、M. Pio Corrêa (1874-1934, Rio de Janeiro植物園の博物学者)の著書「Dicionário das plantas úteis do Brasil e das exóticas cultivadas」全6巻、農務省刊行(1926年)から複写した。

短期間にまとめたので、不正確な情報があると思うが、御指摘を得て訂正の機会を持ちたいと考えている。

平成5年(1993年)3月

# 目 次

まえがき	
第1章 ブラジルの薬用植物	1
1-1 沿 革	1
1-2 生薬調整法と症状別処方	2
1-3 薬用植物の生産と流通	5
1-4 研究の現状と今後の動向	6
第2章 薬用植物の栽培	9
2-1 生態条件、原生地の調査	9
2-2 育 苗	9
2-3 定 植	11
2-4 管 理	11
2-5 病虫害防除	12
2-6 収 穫	13
2-7 乾燥と保管	13
2-8 主要薬用植物の栽培要領	14
2-9 薬草園管理	15
第3章 薬用植物の概説（ABC順）	17
第4章 索 引	87
4-1 地方名→植物番号検索	87
4-2 属名→植物番号検索	98
4-3 科名（日本名）検索	103
追 補 薬用成分のある果実、野菜、香辛料作物	105
図 版	





## 第1章 ブラジルの薬用植物

### 1-1. 沿革

#### ① 薬用植物の生育環境

ブラジルにおける薬効成分をもつといわれている植物は、約 12 千種(UNICAMP, 州立 Campinas大)。このうち、薬効成分が確認されているのは、僅かに 300種前後で、市販されている対症療法剤 (Allopathic) の 25%、類似療法剤 (Homeopathic)の 60% が、植物起源の製剤である。

これらの薬用植物が、北緯 5度から南緯34度、西経 34-74度の間に、南北 4.320km、東西 4.340kmにわたって、熱帯、亜熱帯、温帯にまたがる 8.510千km<sup>2</sup> の国土に分布している。

国土の 50%が熱帯、30% が亜熱帯、20% が温帯で、その80% は、年間 1.000-3.000mmの降雨量がある。植生からみると、森林が 5.000千km<sup>2</sup> で、国土の 60%をしめる。

標高からみると、200m以下の低地が 3.490千km<sup>2</sup>(41%)、200-500mが 3.150千km<sup>2</sup> (37%)、500-1.200m が 1.820千km<sup>2</sup>(21%)、1.200m以上の高地は、50千km<sup>2</sup>(0.5%) である。

#### ② 化学成分

薬用植物の利用部位を化学的に分析して、次の 8成分に分類している。

1. Ácido graxo	脂肪酸
2. Alcalóide	アルカロイド
3. Esteróide	ステロイド
4. Flavonóide	フラボノイド
5. Glicosídeo	配糖体
6. Mucilagem	粘質物、ガム質
7. Resina	樹脂
8. Tanino	タンニン

#### ③ ブラジル薬局方

局方に収載されている生薬は、次の 26 種で、うち 2. 寒天、6. アロエ製品、7. 澱粉を除く 23 品目について、第 3章の別名欄に、収載品である旨、表示した。

1. Acônito	8. Arnica	15. Digital	22. Maracujá
2. Ágar	9. Badiana	16. Estramônio	23. Quina-amarela
3. Alcachofra	10. Beladona	17. Guaraná	24. Quina-vermelha
4. Alcaçuz	11. Canela-do-ceilão	18. Hidraste	25. Ruiibarbo

- |           |                     |               |          |
|-----------|---------------------|---------------|----------|
| 5. Aloé   | 12. Cáscara-sagrada | 19. Ipeca     | 26. Sene |
| 6. Aloína | 13. Colchico        | 20. Jaborandí |          |
| 7. Amido  | 14. Cratogo         | 21. Lobélia   |          |

## 1-2. 生薬調製法

### (1) 秤量

Uma xícara (茶碗)/um copo(コップ)とは 100ml、Uma colher (さじ)とは、薬草木の茎葉、根、花の乾物について、Sopa (スープ) 2g, Chá(茶) 1g, Café (コーヒー) 0.5g、生(なま)の場合は、乾物量の 4-5倍量、エキスの滴数は、20滴で 1mlである。

### (2) 調剤、調製

- ① Infusão (お茶) 茶碗、コップに乾物 1g をいれ、熱湯 100mlをそそぎ、10-15 分間ふたをして、むらし、こして飲む。
- ② Decocção (煎じ薬) 同上の量で、5-15分間煎じる。タンニンを含む、あるいは樹皮や根の場合、時間を加減する。
- ③ Xarope (シロップ) 砂糖と水を煮てつくったシロップに、果汁や薬草の搾り汁を混ぜる
- ④ Tintura(チンキ) コップ 1杯分、ぎっしり詰込んだ薬草に飲用アルコールやピンガを加え、10-15 日間つける。
- ⑤ Maceração(浸出液) 冷水に 12-24時間あるいは数日つけこむ。時々かきまぜが必要。アルコールと半々という処方もある。
- ⑥ Gargarejo (うがい薬) ①②の調製法に同じ。
- ⑦ Inalação (吸入剤) 薬草を煎じながら、その蒸気を吸入する。
- ⑧ Extrato (エキス) 家庭での調製は困難。器具や薬学の知識が必要。薬局生薬専門店で入手する。
- ⑨ Banho (浴剤) 薬草30-60g/lの割合とし、①②の方法で調製する。
- ⑩ Compressa (湿布) ①②の方法で調製したものを、布、ガーゼにしませて、しぼり、患部にあてる。チンキを水1/4 l に薄めたものでもよい。
- ⑪ Cataplasma (ハップ) ①②の方法で調製したものを小麦粉で練ったもの。
- ⑫ Ungüento (軟膏) 薬草粉末をワセリン、ラノリンでうすめたもの。

### (3) 症状別処方

各症状に対する利用薬草の種類は、地方により異なるが、基本的に水 100mlに対して乾草 2g (2%)で調製した、お茶である。

1. 循環器 (Aparelho circulatório)
  - ①出血 Angico(A-18), Aroeira(A-23), Barbatimão(B-26)
  - ②痔 Erva-de-bicho(E-08)
  
2. 消化器(Aparelho digestivo)
  - ①下痢 Barbatimão(B-06), Casca-d'anta(C-26), Cipó-cravo(C-46), Erva-de-são-joão(A-24), Ipecacuanha(I-05), Jamelão(J-04), Rosa-rubra(R-03)
  - ②消化不良 Angélica(A-17), Anis-verde(E-11), Canela-branca(C-16), Camomila(C-14), Laranja-azeda(L-01)
  - ③腸痛 Anis-verde(E-11), Erva-cidreira(E-07), Erva-de-são-joão(A-24), Hortelã-do-campo(H-08), Laranja-azeda(L-01), Pipi(P-13)
  - ④腸内ガス Alfazema(A-13), Anis-verde(E-11), Canela-branca(C-16), Capim-limão(C-17), Cipó-cravo(C-46), Erva-cidreira(E-07), Erva-doce(E-11)
  - ⑤肝炎 Boldo(B-12), Carqueja-amarga(C-22), Dourada-do-campo(D-06), Erva-capitão(E-06), Erva-tostão(E-15), Fedegoso(F-02), Fruta-de-lobo(F-06), Gervão-roxo(G-05), Jurubeba(J-12), Picão(P-11), Samambaia(S-04)
  - ⑥催吐剂 Dourada-do-campo(D-06), Erva-capitão(E-06), Erva-de-cobra(G-09), Ipecacuanha(I-05), Lombrigueiro(L-10), Simaruba(M-06)
  - ⑦下剂 Andá-açu(C-50), Babosa(B-01), Cabeça-de-negro(C-03), Cipó-suma(C-48), Dourada-do-campo(D-06), Fedegoso(F-02), Jalapa(J-02), Sabugueiro(S-01), Unha-de-vaca(P-06)
  - ⑧驱虫剂 Arruda(A-25), Cipó-cravo(C-46), Erva-de-bicho(E-08), Erva-de-santa-maria(E-10), Lombrigueira(L-10), Losna(L-11), Pata-de-vaca(P-06)
  
3. 生殖器
  - ①強精 Catuaba(C-33)
  - ②利尿 Alcaçuz-da-terra(A-09), Alfazema(A-13), Boldo(B-12), Bredo(A-15), Cainca(C-09), Cana-do-brejo(C-15), Carapiá(C-08, C-19), Chapéu-de-couro(C-41), Cipó-cabeludo(C-43), Cordão-de-frade(C-57), Erva-colégio(E-09), Erva-tostão(E-15), Fedegoso(F-02), Fruta-de-lobo(F-06), Jurubeba(J-12), Pata-de-vaca(P-06), Picão-da-praia(P-12), Quebra-pedra(Q-02), Sete-sangrias(S-08), Trapoeraba(T-10)
  - ③性病 Aroeira(A-23), Bredo(A-15), Cana-de-macaco(C-15), Cardo-santo(C-20), Carobado-canto(C-21), Japecanga(J-05)
  - ④生理 Alecrim(A-11), Alecrim-do-campo(A-12), Angélica(A-17), Arruda(A-25), Erva-de-bicho(E-08), Erva-de-colégio(E-09), Losna(L-11), Pipi(P-13), Sete-sangrias(S-08)

#### 4. 呼吸器

- ①喘息 Angico(A-18), Cipó-chumbo(C-45), Guaco(G-09), Jaborandí(J-01), Limoeiro-bravo(L-04), Mulungu(M-14)
- ②鎮咳 Coronha(C-58), Douradinha(D-06), Guaco(G-09)
- ③去痰 Avenca(A-27), Cardo-santo(C-20), Eucalipto(E-20), Hortelã-do-campo(H-08), Ipecacuanha(I-05), Língua-de-vaca(L-06), Pata-de-vaca(P-06), Quitoco(Q-07)

#### 5. 皮膚

- ①創傷回復 Barbatimão(B-06), Caroba-do-campo(C-21), Confrei(C-54), Copaiba(C-56), Folha-da-fortuna(F-05)
- ②発汗 Alecrim-do-campo(A-12), Capim-limão(C-17), Carapiá(C-19), Confrei(C-54), Guaco(G-09), Jaborandí(J-01), Laranja-azeda(L-01), Sabugueiro(S-01)

#### 6. 神経系

- ①鎮静 Caçaú(C-04), Camomila(C-14), Canela-branca(C-16), Capim-limão(C-17), Coronha(C-58), Erva-cidreira(E-07), Hortelã-do-campo(H-08), Laranja-azeda(L-01), Mulungu(M-14), Pitanga(P-15)

#### (4) 地方名と一般名

同一植物に対して、地方により名称が異なり、同一名称が、異なる植物に対して使用されているので、処方を見た時、どの地方で用いられている名称か、あるいは、どんな処方に対して、この薬草を利用するのかを確認する必要がある。こうした混乱がさけるため、正しくは、学名を使用すべきである。

一例を示す。鎮静剤として、Erva-cidreiraが指示されたとする。Erva-cidreira と呼ばれる薬草は、主として、次の3種である。

学名	科名	作用
1. <i>Melissa officinalis</i>	シソ科	神経系統の安定、消化不良等
2. <i>Lipia geminata</i>	クマツツラ科	生理の遅れ調整
3. <i>Cymbopogon citratus</i>	イネ科	鎮静剤、香料

この場合、1. か 3. かになるが、3. の用途は、主として香料であるから、精神、神経安定の目的に使用するなら、1. *Melissa* である。

*Erva-de-santa-luzia* の場合も、次の3種は同名で使用されている。

学名	科名	作用
1. Pistia stratiotes	ウキクサ科	利尿ほか
2. Commelina sulcata	ツユクサ科	利尿ほか
3. Euphorbia brasiliensis	トウダイグサ科	利尿ほか

どれを使っても同効果かという点、薬効に対する主、副成分の関係で、必ずしもそうではない。生薬に理解のある医師の指導のもとに利用すべきである。

### 1-3. 薬用植物の生産と流通

#### (1) 生産の実態

ブラジルにおける薬草生産は、大部分が採取、採集である。最近になって、欧州原産の薬草の気候順化とか、採集の能率化のために、自生地環境整備、栽培が行われている一部に、製薬会社の下請採取、栽培、またメーカー直接の栽培、成分抽出（L-DOPA、ピロカルピン等）がある。

生産量は、化粧品香料、香辛料を含めて、100-150千トン（乾物）、金額100-150百万ドル/年間（卸売価格）といわれるが、あくまで推測である。

#### (2) 流通

流通も、流通機構といえるほどの組織があるのではなく、採取者⇒集荷業者⇒薬草店、露店の経路がほとんどである。参考に、Kgあたりの流通価格（従って、消費者価格ではなく、準卸売価格とみていい）を示す（調査時点1993年3月、為替 US\$ 1.00=CR\$ 20.000）

薬草名	価格/kg	薬草名	価格/kg
Angico-branco	18.000	Batata-de-purga	30.000
Caju	25.000	Canela-sassafras	25.000
Capim-limão	18.000	Capim-santo	20.000
Caroba	22.000	Caçáu	25.000
Catuaba	18.000	Cavalinha	32.000
Cipó-azougue	25.000	Cipó-cabeludo	22.000
Cipó-caboclo	20.000	Cipó-carijó	22.000
Cipó-cravo	20.000	Cipó-suma	22.000
Fava-santo-inácio	35.000	Guiné	32.000
Erva-de-passarinho	20.000	Erva-pombinha	50.000(1)
Erva-toslão	25.000	Ipê-roxo	18.000

Nó-de-cachorro	25.000	Losna	60.000(2)
Perobinha	22.000	Quina-vermelha	25.000
Quixaba	18.000	Sete-sangrias	25.000
Embaúba	18.000		

注(1) Erva-pombinha(*Phyllanthus niruri*)=Quebra-pedra。トウダイグサ科(Fuphorbiaceae)

(2) Losna(*Artemisia absinthium*)=Absinto。キク科(Compositae)。

### (3) ブラジルの医薬品業界

ABIFARMA(Associação Brasileira da Indústria Farmacêutica, ブラジル医薬品工業会 Rio de Janeiro市, 1947年創立)の加盟社数 350社。売上高 45 億ドル(世界第 9位)。

上位10社(アメリカ 6, スイス 2, ブラジル 2社)の売上高が約10億ドル、11-20位の10社が 6億ドルで、計30-35%をしめている。

#### 1-4. 研究の現状と今後の動向

従来は、医学、薬学者の集団であった研究体制が、学際を越えて、化学、農学者も加えた研究組織にかわってきた。これは、戦後の合成化学の進歩による医薬品の製造が、人類の健康に貢献したと同時にもたらした副作用の問題がとりあげられ、ここ数年再び「原始林のなかへ」へと方向転換、国内各大学薬学部や研究所は、薬理作用、薬効物質の検索、生態調査、栽培技術等、重点のおきかたは、研究者の数、施設等により異なるが「緑の波」運動、生薬、無農薬食品の生産、開発研究にシフトし始めている。また外資系の医薬品会社も北半球で開発した薬品を販売するだけでなく、15千種といわれる熱帯、亜熱帯の薬用植物を研究開発しようと乗り出してきている。

##### ① UNICAMP

UNICAMP(カンピーナス大学)付属の CPQBA (Centro Pluridisciplinar de Pesquisas Químicas, Biológicas e Agrícolas, Vila Betel, Paulínia-SP, Caixa Postal 27, CEP 13140 ☎ 0192-74-2500)は、1987年開設、32haの試験ほ場と 6haの実験室、温室、ファイトトロン(人工気候室)をもち、30名の薬学、植物化学、合成化学、生物、微生物学、プロセス技術、農学の研究者が、同じ植物について、栽培、化学分析、薬効成分の分離精製、動物での治療効果試験を共同で研究している。この 5年間に下記の 18 薬用植物について、薬効成分の生産という点からの研究を終え、次に行う50種の植物が、すでに、ほ場に植えられている。

植物名	学名	科名	薬用効果
Babosa	<i>Aloe vera</i>	ユリ科	頭髪、皮膚強壯剤
Calêndula	<i>Calendula officinalis</i>	キク科	消毒剤
Capim-limão	<i>Cymbopogon citratus</i>	イネ科	消化剤
Dedaleira	<i>Digitalis lanata</i>	ゴマノハグサ科	強心剤
Digitalis	<i>Digitalis purpurea</i>	同上	同上
Duboisina	<i>Duboisia myoropoides</i>	同上	麻酔剤
Embaúba	<i>Cecropia glaziovix</i>	クワ科	高血圧治療剤
Erva-cidreira	<i>Melissa officinalis</i>	シソ科	消化剤
Espinheira-santa	<i>Maytenus ilicifolia</i>	ニシキギ科	抗潰瘍剤
Guaco	<i>Mykania glomerata</i>	キク科	気管支拡張剤
Hortelã	<i>Mentha piperita</i>	シソ科	駆虫剤
Jaborandí	<i>Pilocarpus spp</i>	ミカン科	緑内障治療剤
Mentrassto	<i>Ageratum conyzoides</i>	キク科	消炎剤
Mil-folhas	<i>Achillea millefolium</i>	キク科	強壯 Depurative
Papoula	<i>Papaver bracteatum</i>	ケシ科	鎮静剤
Quebra-pedra	<i>Phyllanthus corcovadensis</i>	トウダイグサ科	利尿剤
Tomilho	<i>Thymus vulgaris</i>	シソ科	刺激剤
Vinca-rosa	<i>Vinca rosa</i>	キョウチクトウ科	刺激剤

センターは、大学予算のみに依存せず、民間からの委託研究費、研究成果のバック販売により、経費を捻出している。一例をあげると、中国原産 *Artemisia* (学 *Artemisia annua* キク科、日本にも野生している) の気候順化を行い、マラリヤに対する薬効成分 *Artemisinin* を抽出した。

また、特殊条件下で栽培したコムギから抽出する消炎剤、*Erva-baleeira* (学 *Cordia verbenacea*, ムラサキ科, *Boraginaceae*) から *Artemetina* を工業的に抽出する方法等を開発した。

## ② USP(サンパウロ大学)

同大学の研究者のひとりが、10年前サンパウロ州北部の海岸で釣針で怪我をした漁民がなにやらポケットからだして傷につけた乾草を見逃さなかった。これから研究が始まり、のちに消炎成分、*Artemetina* を分離した。ついで *Laboratório Aché* (第2位の売上高) との共同研究にはいり、工業生産に道を開いた。まだ市販されていない。

現在研究中の薬用植物は、次の通り。

植物名	学名	科名	病名、薬用効果
Guaçatonga	<i>Casearia sylvestris</i>	イイギリ科	消炎作用
Gengibre	<i>Zingiber officinale</i>	ショウガ科	気管支炎、心臓炎
Copaíba	<i>Copaifera officinalis</i>	マメ科	ひ尿器、呼吸器疾患
Guiné	<i>Pettiveria alliacea</i>	ヤマゴボウ科	免疫物質
Centella-asiatica	<i>Centella asiatica</i>	セリ科	蜂巣織炎
Barbatimão	<i>Stryphnodendron barbatiman</i>	マメ科	皮膚斑紋
Estoraque-do-campo	<i>Styrax benjoin</i>	エゴノキ科	外傷治癒
Fruto-do-lobo	<i>Solanum lycocarpus</i>	ナス科	同上
Macela-do-campo	<i>Achirocline satureloides</i>	キク科	消化剤

### ③ UFRJ(リオ大学)

Univ. Federal de Rio de Janeiro では、次の薬用植物について研究中。

植物名	学名	科名	病名、薬用効果
Guaco	<i>Mikania glomerata</i>	キク科	気管支炎
Embaúba	<i>Cecropia glaziovix</i>	クワ科	降圧剤
Maracujá	<i>Passiflora edullis</i>	トケイソウ科	情緒不安定症
Pata-de-vaca	<i>Bahunia fortificata</i>	マメ科	糖尿病
Mentrassto	<i>Ageratum conyzoides</i>	キク科	消炎剤

### ④ 民間企業

製薬会社、農場等で、情報収集中のものは、以下の通り。

植物名	学名	科名	病名、薬用効果
Capim-cheiroso	<i>Killinga odorata</i>	カヤツリグサ科	精油(US\$ 40/l)
Carqueja	<i>Baccharis trimera</i>	キク科	結石除去
Caluaba	<i>Erythroxilum catuaba</i>	コカノキ科	精力剤
Celidônia	<i>Cheridonium majus</i>	ケシ科	鎮痛剤
Ginkgo	<i>Ginkgo bilota</i>	イチョウ科	血流促進剤
Teixo	<i>Taxus pacifico</i>	イチイ科	抗ガン剤

### ⑤ 今後の研究動向

ブラジルには、上記 3大学以外に、各地に連邦立、州立大学があり、それぞれ薬学部、理学部、農学部がある。また国立農畜産研究公社(EMBRAPA)や各州も、農業試験場をもち薬用植物の開発利用研究を行っている。

今後の研究の動向としては、インディオの利用している、あるいは原始林内で霊長類が体調をくずした時に食べている植物(樹木を含む)の調査研究、北半球で既に薬効が確認された植物の移植、栽培試験に重点がおかれているようである。



## 第2章 薬用植物の栽培

### 2-1. 生態条件、原生地の調査

すでに、広く栽培に移されている薬用植物は、ともかく、新しく栽培に移す薬用植物の場合、原生地の環境 (Habitat) について調査しなくてはならない。調査項目は次の通り。

#### ① 気候条件

付近の気温、雨量、霜害、乾ばつに関するデータを集める。

高温、中温、低温のいずれを好むか、高湿、低湿を好むか、あるいは耐えるか。

#### ② 土壌条件

生育土壌は、肥沃、普通、やせ地のどれか (常に肥沃土を好むとは限らず、やせ地を好む植物もある) また砂地か、粘土の含有割合 (採土して分析)。

排水条件はどうか。あまり問題としない植物もある。

#### ③ 日照条件

直射日光が終日当たっているか、半日陰か (この場合、日陰度を 75, 50, 25% と数量化してみる) 育苗時、半日陰においたのに、普通の畑に定植したために失敗した例がある。

#### ④ 生育場所

平地か、高地、低地、山中、傾斜地か。

#### ④ 性状

この植物は、多年生、越年生、1 年生か。草本、半かん木、かん木、小木、大木か。直立性、ほふく性、つる性か。浅根性か、深根性か。

繁殖は、種子によるか、さし木か、株分けか。

種子を直まきできるほど強健か、苗床を要するか。

収穫時期、部位、収量に関する情報。

### 2-2. 育苗

#### ① 苗床 (Viveiro)

適当な大木の下とか、半日は日光があたる場所で、通風がよく、南向きでない傾斜地、しかも冬の強風の当たらない場所で、かん水に便利な場所を選ぶ。

苗床用の支柱は、長さ 2.8-3.3m で、地中に 0.8m は埋める。埋込み間隔は 3x3m。直射日光と雨から幼苗を守るために、遮光度 50% の寒冷しゃ (Sombrite 遮光度 30, 50, 70% の 3 種ある) を使用する。

#### ② は種床 (Sementeira)

苗床内につくる、最も安価な床は、高さ 20cm 以上の高うねをつくることである。排水もいいし、水分制御が簡単である。

しかし小苗の生産にはイゾポール（発泡スチロール）製のは種子ベッド（育苗成形培地 240穴、156 穴等）を地上 75-80cmに鉄ワクをくんでならべる。苗木の場合は、ポリエチレン袋（1-5 リットル）で 育苗する。

育苗床の大きさは 1x5m、育苗床の間隔は 0.5-0.6m が作業性がよい。方向は南北。

### ③ 培養土

苗床で使用する土は、原産地の土壌条件にあわせて準備するが、まず pH を調整する。5.0以下なら、6.0-6.5程度まで、マグネシウムいりの炭酸カルシウムを用いて調整する。ついで粘土質の割合を40% 以下にさげる。化学肥料は一切使用できないので、放牧に出さない乳、肉牛ふん尿（雑草種子を持ち込まないため）、鶏ふん（飼料添加物を配合していないこと）を混ぜた堆肥を、2-5kg/m<sup>2</sup>として準備する。リン酸粉、木炭末、くずは使用する。

### ④ は種

苗床の中方向に平行して10cm、樹木苗木用種子の場合は 20-30cmの間隔に深さ 2.5cmのスジをつける。種子が小粒の場合は、砂と混合して、まきやすくする。ポリエチレン袋に種子をまく場合は 3-4粒をまき、苗が5cm 程度のサイズになった時点で、間引きする。

### ⑤ さし木、株分け

樹木、かん木類は、さし木で活着する。Guaco, Melissa, Vinca は、この例。さし木をとる母樹は健全で生産の多い樹の枝を長さ 10-20cmに切り取り、苗床に2/3 を外に出してさしこむ。

健全な株から、その一部を分けてきて、直接定植することもできる（ハッカ）。地下茎を利用できる場合もある（キク科薬草）。

### ⑥ 土かけ

は種後、覆土するが、フルイを通した土(10l/m<sup>2</sup>)をかけ、ついで、イネ、モミガラ、乾草を刻んだものをかける。

### ⑦ カン水

理想的なかん水は、天井から霧雨のような形で与える。ふつう、穴を針穴程度まで細くしたジョロでかん水する。かん水時間は、早朝または夕刻。日中をさける。5-10日で発芽する。発芽後 5-7日で弱い株、病気にかかっている株を間引きする。

### ⑧ 苗木生産経営のめやす

薬草の種類、人手、育苗の難易、苗木の月令、数量等によりことなるが 1本 US\$ 1-3ドル程度である。

## 2-3. 定植

### ①日照条件

薬用植物のなかに、半日陰を好む植物がある(Caapeba, Celidônia, Folha-da-fortuna, Fura-parede, Guaçatonga, Pacová, Tipi 等)。これらの植物を移植する前に、日陰樹が既に植えつけてあることが必要であるが、熱帯果樹がよいのか、樹高が20-30mもある高木がよいのか、常緑樹か落葉樹かの情報はない。

遮光条件は、短日効果と同じで、生長サイクルを短縮し、開花を早め、当然収量に影響してくる。このマイナス効果を消すために、植付間隔、株間を広げる。

### ②土壌pHのきょう正

酸性の荒地を好む植物もあるが、普通は pH 5.5-6.5 まできょう正する。

### ③傾斜地

等高線をつくり、ウネたてする。等高線の巾は土地の傾斜度合による。

### ④ウネ

1年生薬用植物は、ほぼ野菜と同様に考えていい。巾 1m で、通路は 50cm が基準。植えつけ間隔は、植物の草丈による。草丈がレタス(Alface)のように低いもの(Digitalis)は、列間 30cm x 株間 20cm、草丈 1m 以下なら(Arruda) 50x35cm、草丈 1-2m なら、(Bolido)70x50cmを目安とする。

かん木、樹木の場合は、3x4mを目安として考える。

### ⑤定植時のかん水

定植前日のかん水中止、当日は十分かん水とか、なるべく曇り日の早朝、夕刻を選ぶとか、敷草をおくとか、このあたりの処置は野菜と同様である。

## 2-4. 管理

### ①かん水

最も重要な管理。季節、植物により、かん水量、かん水頻度がきまる。

### ②除草

雑草(こういう名の草はないが)と、薬用植物が、栄養、水、日光のうばいあいがおこるので、手による除草をおこなう。ひとりで管理できる面積は、約2,000m<sup>2</sup>。

雑草は、薬草畑の外へもちだす。また敷草は、雑草の発生をかなりおさえる。

### ③ツル性植物

Guaco, Salsaparrilhaのようなツル性植物には垣根が必要。垣根の高さは 1.2-1.5m。40, 80, 120cm の 3段に針金を張る。

### ④せん定

かん木、樹木は、収穫後せん定を行う。収穫のすんだ枝、病気にかかっている枝、こみあっている枝を切り払う。樹高も 2m 程度におさえないと作業性がわるい。(Embaúbaは、2年で4m以上になる)

## ⑤防風林

冬季強風がふく地方は防風林が必要。樹種は、Cedro, Grevilea, Leucenaの3種が推薦されている。

-Cedro	Cedrela fissilis,	センダン科	Meliaceae
-Grevilea	Grevillea robusta	黄花 ヤマモガシ科	Proteaceae
-同上	G. forsterii	赤花 同上	同上
-Leucena	Leucaena leucocephala	マメ科	Leguminosae

## 2-5. 病虫害防除

薬用植物は、野菜や果樹のように収量を多くするための改良をしていないし、育苗、定植、管理に注意を払ってきたのであるから、特に問題はないはずだが、雨期はやはり病虫害がおこる。

### ①虫害防除

野菜栽培において、フェイジョン(マメ)、コウベ(Brassica 属野菜の総称)、トマトの間に、Camomila(学 Matricaria chamomilla, キク科), Salsa(Petrelinum crispum, セリ科, 香辛料野菜), Segurelha(別名 Alfavaca-de-campo, 学 Ocimum spp, シソ科), Tomilho(学 Thymus vulgaris, シソ科の香辛料野菜)を植えて、害虫の繁殖密度をさげているが、これは、その昆虫忌避作用を利用しているのである。

虫害をさけるには、大規模単作をしない、同科同属の植物を連作しない、収穫残さと、せん定した枝は焼却することが大切。

Samambaia(学 Pteridium aquilinum, ワラビ科, Pteridaceae)乾草 1kgに対して、アルコール 3 lと、水 7 lを加え、毎日数回かく拌しながら 8日間浸漬する。使用時10倍に薄める。薬用植物の主要害虫、Acaro(ダニ), Besourinho(コガネムシ), Cochonilha(カイガラムシ)、Pulgão(アブラムシ)の4種にたいしてかなり効果がある。

Quássia(学 Quassia amara, ニガキ科, Simaroubaceae)の浸漬液は、Besourinho(コガネムシ), Mosca-branca(学 Bemisia tabaci, ビールス病を媒介), Percevejo(カメムシ), Tripes(スリップス)に対して有効である。

その他、植物性忌避剤(酢、ニンニク等)の活用と、土着天敵の利用がある。天敵は、エサがなければ生きられないから、それぞれの密度が重要なファクターとなる。

### ②病害防除

殺菌剤は、酢の活用。酢は一剤で、よくカビ、細菌の両方にきく。500-1.000 倍液を、毎週、隔週、月 1回、病気の程度によって散布するだけだから経済的。

ブラジルでは、草丈 30cm の多年生草本、Cavalinha(学 Equisetum arvense, トクサ科 Equisetaceae)のせんじ汁が、カビ、特に根をおかすカビ病にきくといわれる。200gの乾草を細断して、水 10lとまぜ、20分せんじ、ロカしたもの。

Urtiga vermelha(学 Urtiga urens, イラクサ科, Urticaceae)も同様目的に利用される。

センチュウ対策は、マリゴールド(Cravo-de-defunto, キク科)を輪作に組込む等。

## 2-6. 収穫

薬効成分（アルカロイドや精油等）は、植物により、根、地下茎、種子、果実、樹皮と集中する部位が異なる。ブラジルにおける収穫期は、11-1月に集中する。

Camomilaの薬効成分は、花ビラ中にある。したがって開花最盛期に花のみを収穫する。この時期を過ぎると、花中の薬効成分は急激にさがるので、動員できる労働力によって、栽培面積が決定することになる。

Mentras to や Artemisia の場合は、薬効成分は、葉中にあり、開花前に収穫する。この時期を逃して開花期にはいると、Alfavacaのように僅か数時間で、成分は失われ、一部は葉から花へ移行する植物もある。

収穫時間は、朝露がきれてからすぐ、および夕刻である。朝露、霧、細雨のもとでは、収穫物が醗酵し、カビがはえる。花や葉をいれる袋は布袋がよく、通気性のないプラスチック袋は使用しない。ダンボール箱、籠も利用する。収穫は、小カマで刈るか、ハサミで切落し、引きちぎったりしない。葉を収穫する場合 1/2にとどめ、裸にしない。花序の、収穫適期はツボミができ始め、ハチ等の訪花昆虫がふえる時期。

地下茎、根の場合は、萎縮し始めたら掘りあげる。

樹皮は雨期には水分を吸い込んでいるので、乾期に手やナタ(Facão) でけずりとる。

種子、果実は、植物が完熟してから。果実はハサミを使って切り取る。収穫物は積み上げない。

## 2-7. 乾燥、保管

### ①自然乾燥

風通しのよい倉庫で、自然乾燥する。その前に、病虫害にかかった部分、昆虫類、ゴミ、雑草、砂土石を取除く。機械乾燥は勧めないが、必要な場合、温度は40℃以下とする。また、直射日光で乾燥してはならない。根、地下茎を除き、乾燥機に入れる前に洗わないこと。乾燥後、植物名、収穫調製日を記録したラベルをつける。

歩留は、花ビラ 35%(Borragem 10%)、根 30-70%、葉 20-80%、樹皮 35-60% 程度。

栽培面積に対する乾燥倉庫面積は、乾燥する植物部位により異なるが、10-20%。

### ②乾燥棚

普通、大きさ 50x100cm 深さ 2-5cmの木製引出しの底面に、硬質プラスチック網を張り薄板で網を張り詰めて固定する。これを、棧をつけた枠に、5-6枚ずつ差し込めるような乾燥棚を作る。この棚は、葉、花ビラの乾燥用で、花序、全草の場合、引出しを取除き、横棒をわたして、二束に振分けた花序や全草をつり下げる。種子の乾燥の場合も同様。

### ③保管

乾燥後、直ちに販売しない場合、ジュート袋にいれて、つり下げ式に、ゴミのない、昆虫の入りこまない乾燥した冷暗所に保管する。異種の植物の袋を隣接して並べない。

長期保管の場合、においのない、かつ化学接着剤を使っていない木箱に収納する。

2-8. 主要薬用植物の栽培要領

(1) 日照 100% を要求する植物

植物名	植生	草丈	繁殖	土壌	間隔 m	植付	収穫	部位
1. Alecrim	多、灌	0.5m	種、挿	乾、排	1.2x0.9	雨期	年中	葉
2. Anis	1、草	0.5	種子	軽、排	0.7x0.3	秋口	120日	種
3. Arruda	多、灌	1.0	種、挿	ア、石	0.7x0.3	夏	4カ月	花葉
4. Artemisia	多、草	1.2	挿、株	乾、瘦	0.2x0.2	雨期	6-8カ月	全草
5. Assa-peixe	多、灌	3.0	種、挿	瘦、排	5.0x4.0	雨期	年中	葉根
6. Babosa	多、灌	1.0	種子	軽、砂	1.0x0.5	雨期	年中	葉
7. Barbatimão	樹木	6.0	種子	乾、排	6.0x6.0	雨期	成木	樹皮
8. Bardana	1、草	1.0	種子	肥、排	0.5x0.3	春秋	4カ月	葉根
9. Boldo	多、灌	1.5	種、挿	軽、乾	2.0x2.0	雨期	成木	葉
10. Calêndula	多、草	0.4	種子	肥、湿	0.2x0.2	雨期	2カ月	全草
11. Camomila	1、草	0.4	種子	肥、湿	0.5x0.2	秋	4カ月	花
12. Capim-limão	多、草	0.8	株分	普通	1.0x0.4	年中	4カ月	葉根
13. Carqueja	多、草	1.2	種、挿	湿	1.0x0.4	雨期	4カ月	葉
14. Confrei	多、草	0.6	株分	肥、排	0.8x0.8	年中	3カ月	根莖
15. Cratego	樹木	3.0	種子	排水	4.0x4.0	夏	春	花実
16. Embaúba	樹木	25.0	種子	湿	4.0x4.0	年中	毎年	葉
17. Erva-baleeira	多灌	3.0	種、挿	湿	4.0x4.0	雨期	成木	葉
18. Erva-cidreira	多灌	0.5	挿木	普通	1.5x0.8	雨期	4カ月	葉花
19. Erva-de-bicho	1、草	0.8	種子	湿	0.2x0.2	雨期	1カ月	全草
20. Estevia	多、草	0.8	挿木	湿	0.5x0.1	雨期	4カ月	葉
21. Eucalipto	樹木	60.0	種子	普通	1.5x1.5	年中	年中	葉花
22. Funcho	多、草	2.0	種子	軽、肥	1.2x0.8	雨期	6カ月	葉根
23. Guaraná	多、刈性	5.0	種子	肥、深	4.0x4.0	雨期	完熟	種子
24. Hortelã	多、草	0.5	株分	湿、粘	0.3x0.3	年中	6カ月	葉
25. Jurubeba	多、灌	2.5	種子	砂、軽	2.0x1.0	雨期	完熟	葉根
26. Losna	多、草	1.0	挿、株	乾、瘦	0.2x0.2	雨期	6カ月	葉花
27. Lúpulo	多、刈性	6.0	挿木	肥沃	2.0x2.0	春	夏	雌花
28. Malva	多、草	1.0	種子	肥沃	0.5x0.2	雨期	花期	全草
29. Mastroço	1、草	0.7	種、挿	普通	0.8x0.4	雨期	1カ月	花葉
30. Mil-folhas	多、草	0.6	挿、株	粘、肥	0.4x0.2	年中	6カ月	花葉
31. Pata-de-vaca	樹木	3.0	種子	普通	4.0x4.0	雨期	2年	全体
32. Pfaffia	多、灌	1.2	株分	湿、肥	1.0x0.5	雨期	3-4年	根

植物名	植生	草丈	繁殖	土壌	間隔 m	植付	収穫	部位
33. Serralha	1、草	0.5	種子	普、排	0.2x0.2	秋	2カ月	葉
34. Tanchagem	多、草	0.4	種子	湿	0.5x0.2	冬	3カ月	葉
35. Zedoária	多、草	1.5	根茎	砂、排	0.7x0.3	雨期	7カ月	根茎

□

## (2) 半日陰を要求する薬用植物

植物名	植生	草丈	繁殖	土壌	間隔 m	植付	収穫	部位
01. Angélica	2、灌	2.0	種、挿	湿、粘	0.5x0.4	雨期	2年	根種
02. Caapeba	多、灌	1.5	根分	普通	2.0x1.0	雨期	1年	葉
03. Celidônia	多、草	1.5	種子	普、排	0.8x0.4	雨期	6カ月	全草
04. Cinerária	多、草	1.0	種子	新、排	0.8x0.4	雨期	6カ月	葉花
05. Dente-de-leão	多、草	0.5	種、株	普通	0.2x0.2	雨期	2カ月	葉花
06. Espinheira-santa	樹木	4.0	採苗	肥、排	3.0x3.0	雨期	2年	葉
07. Folha-da-fortuna	多草	1.2	子苗	普、排	1.0x0.5	年中	年中	葉
08. Fura-parede	1、草	1.0	種子	新、湿	0.2x0.2	雨期	2カ月	葉
09. Guaçatonga	樹木	4.0	種子	7/加土	4.0x4.0	雨期	成熟	葉
10. Guaco	多、7/性	1.2	挿木	普通	1.5x1.0	年中	年中	葉
11. Jaborandí	多、灌	2.0	種子	軽、砂	3.0x3.0	雨期	成木	葉
12. Pacová	多、草	0.6	株分	低湿地	0.8x0.4	雨期	1年	根種
13. Quebra-pedra	1、草	0.2	子苗	普通	0.3x0.2	雨期	3カ月	全草
14. Tipi	多、草	1.0	種子	普通	0.8x0.4	雨期	6カ月	葉根

注 1. Anis, Camomila は、収穫期が雨期にはいない様、は種する。

2. Embaúbaは、メス樹から採種する。

3. Espinheira-santa の苗は、原始林から採集。活着に60日要する。

4. Folha-da-fortuna は、親株のそばに生える子苗をとる。

5. Guaco 採葉する時、柵にからんでいる茎をとらない。

6. Quebra-pedra 採集した株を再植する。

## 2-9. 薬草園管理

Estância Demétria (Botucatu, SP, サンパウロから西方250km)の経営は、毎週 500箱 (7トン) の無農薬野菜の販売でささえられている。

農場の薬草栽培面積は 15ha(内 8haはCamomila)、就労者18名(収穫時50名)。この労力で、別の輪作用農地で、Crotalaria, Feijão-de-porco, Mucuna-preta の3種のマメ科緑肥作物も管理している。

① *Angélica* (学 *Angelica archangelica*, セリ科, Umbeliferae)

利用部分は根であり、1株につき50x40cmのスペースが必要なので、は種床にまき、本ばに移植。冬、本ばに定植する40日前、は種する。栽培期間9カ月、新芽が出そうになった時に収穫(この時期薬効成分最大)。

② *Arruda* (学 *Ruta graveolens*, ミカン科, Rutaceae)

冬、当年の枝を切り取り、育苗カップに挿木する。移植は夏。植付間隔は30x25cm、4カ月後に採葉、さらに4カ月後採葉。

③ *Capim-limão*(学 *Cymbopogon citratus*, イネ科, Gramineae)

雑草のように生育旺盛。ただし降雨が必要。植付間隔は(60-80)x(10-20)cm。草丈が、40-50cmとなり、株を形成する頃、採葉する。株は再発芽する。傾斜地では、土壌流亡の防止をかねて栽培する。

④ *Camomila* (学 *Matricaria chamomilla*, キク科, Compositae)

種子が小さいから砂と混ぜて、本ばに直まき。間隔は30x25cm。利用部位は花。収穫量が多く、労力を集中的に要するので15-20日間隔で種子まきをする。時期は4-7月(冬)開花は3-4カ月後。一斉に開花しない。乾燥機のない中に落ちた種子は、翌年利用する。

⑤ *Confrei* (学 *Symphytum officinale*, ムラサキ科, Boraginaceae)

株分でふやす。間隔50x(20-30)cm。年中植えられる。草丈50cmで葉を収穫。他の薬用植物と異なり、6-7年同一ほ場において生産可能。

⑥ *Mil-folhas* (学 *Achillea millefolium*, キク科, Compositae)

収穫時にとった新芽を植替してふやす。7-8月(冬)植付、11-12月(春)収穫。植付間隔30x25cm。花序が開き、白っぽくなったらカマで刈取る。

⑦ *Melissa* (学 *Melissa officinalis*, シソ科, Labiadae)

香料作物。ホフク茎でふやせる。生育初期の高温に耐えないので、夏には植えない。2カ月で刈取る。同一ほ場に1年以上連作しない。

⑧ *Hortelã*(学 *Mentha crisper/piperita/pulegium/spicata*, シソ科, Labiadae)

花が咲かないから種子はなく、株分でふやす。年中植付可能。約40日で草丈15-20cmとなり収穫できる。ハッカは肥沃な土壌を好むから刈取後液状きゅう肥をいれる。ホフク茎の節から根をおろし、活発にふえていく。

⑨ *Tanchagem* (学 *Plantago major*, オオバコ科, Plantaginaceae)

種子でふやす。湿度のある土壌を好む。種まきは冬。薬効成分のある葉は、種子まき後3-4カ月、夏に刈取る。 □



### 第 3章 薬用植物の概説

#### A-01. Abrunheiro (学 *Prunus spinosa*,バラ科, *Roseacea*)

別 名 *Ameixeira-brava*, 英 *Blackthorn tree*。  
生態性状 欧州の乾燥、石れき地原産。草丈 2-3m のカン木。  
利用部位 種実。  
化学成分 タンニン、配糖体、シアン化物。  
薬 効 緩下剤  
用法用量 10%のお茶、せんじ薬。日量 200ml (エキス 25ml)

#### A-02. Abutua (学 *Abuta sabdwithiana*, ツツラフジ科, *Menispermaceae*)

別 名 *Butua*, *Iroba*, *Jabuticaba-de-cipó*, *Parreira-brava*, *Uva-do-mato*  
生態性状 ブラジル原産。主として Bahia⇒S. Paulo 州の砂地、セラードに分布。  
利用部位 根 (2-6cm の乾根で流通)  
化学成分 アルカロイド (有毒)  
薬 効 利尿、肝、腎臓炎  
用法用量 2%のお茶、せんじ薬。日量 200ml (エキス 5ml)

#### A-03. Acônito (学 *Aconitum napellus*, キンボウゲ科, *Ranunculaceae*)

別 名 (局方収載) トリカブト, 英 *Aconite*,  
生態性状 欧州アジアの山岳地帯原産。草丈 1.5m。花は青色。有毒植物。  
利用部位 根 (4-10cmの乾根で流通、輸入)  
化学成分 アルカロイド  
薬 効 リューマチ、痛風の鎮痛。  
用法用量 日量 エクス 5滴 (有毒、要注意)

#### A-04. Adonis (学 *Adonis vernalis*, キンボウゲ科, *Ranunculaceae*)

別 名  
生態性状 絶滅状態。アメリカ、欧州東南部では保護植物。  
利用部位 花  
化学成分 配糖体、樹脂  
薬 効 心鼓動の調整  
用法用量 1%のお茶。日量 100ml (エキス60滴)

A-05. Agoniada (学 *Plumeria lancifolia*, キョウチクトウ科, Apocynaceae)

別 名 英 Agony  
生態性状 ブラジル南部海岸山脈原産の樹木。樹皮は非常に苦い。  
利用部位 樹皮、根、葉  
化学成分 アルカロイド (有毒)  
薬 効 生理調整、喘息  
用法用量 お茶

A-06. Aipo-do-rio-grande (学 *Apium australe*, セリ科, Umbeliferae)

別 名 学 *Apium leptophyllum* (外傷の手当)  
生態性状 Rio ⇨ Rio Grande do Sul州に自生。  
利用部位 根、葉 (野菜として利用不可。有毒) 種子  
化学成分 精油  
薬 効 葉と乾根のお茶は、消化、利尿。  
用法用量 お茶

A-07. Agrimônia (学 *Agrimonia eupatoria*, バラ科, Rosaceae)

別 名  
生態性状 草丈1mの草本。ブラジルでも栽培。黄色の花序と、イガつき果実が特徴  
利用部位 葉と根  
化学成分 精油、タンニン  
薬 効 外用で打撲傷、内服で下痢治療  
用法用量 2%のお茶。 日量 100ml (エキス 8ml)

A-08. Alcachofra (学 *Cynara scolymus*, キク科, Compositae)

別 名 (局方収載) Artichoke, アーティチョーク  
生態性状 欧州原産の薬用野菜。S. Paulo以南の温暖な気候地帯で栽培。  
利用部位 葉  
化学成分 タンニン  
薬 効 利尿、動脈効果症  
用法用量 3%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

A-09. Alcaçuz-da-terra (学 *Periandra dulcis*, マメ科, Leguminosae)

別 名 Raiz-doce  
生態性状 Minas からParaná州にかけての山中にみられるカン木。  
利用部位 根  
化学成分 タンニン、精油  
薬 効 セキどめ、利尿、下剤  
用法用量 お茶。根 500g を水 2l に24時間水漬、砂糖を加えたものがセキどめ。

A-10. Alcaravia (学 *Carum carvi*, セリ科, Umbeliferae)

別 名 Cominho-dos-prados, 英 Caraway, キャラウェイ  
生態性状 南、中歐でよく知られており、種子が香料作物。オランダでは栽培。  
利用部位 種子 (輸入)  
化学成分 精油、ロウ  
薬 効 利尿、腸内ガス、ひ乳促進  
用法用量 5%のお茶。日量 200ml (エキス 10ml)

A-11. Alecrim (学 *Rosmarinus officinalis*, シソ科, Labiatae)

別 名 Alecrim-de-cheiro, 英 Rosemary  
生態性状 地中海沿岸原産。17世紀ブラジルへ。花は白、紫色。草丈 50cm。  
利用部位 葉 (輸入)  
化学成分 精油  
薬 効 肝機能回復、消毒剤  
用法用量 4%のお茶。日量 100ml

A-12. Alecrim-do-campo (学 *Baccharis dracunculifolia*, キク科, Compositae)

別 名 Alecrim-de-vassoura, Vassoura, Vassoureira, Vassourinha  
生態性状 草丈 2-3m のカン木。Minas 州以南に分布。種子繁殖。カンバツに強い  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬 効 疲労、発熱、胃の消化機能低下、胃のもたれ  
用法用量 お茶

A-13. Alfazema (学 *Lavandura spica*, シソ科, Labiatae)

別名 Lavanda, Lavandura, 英 Lavender, ラベンダー  
生態性状 小カン木。香料植物。  
利用部位 葉、花(輸入)  
化学成分 精油  
薬効 鎮静、消化、腸内の異常醗酵とガス  
用法用量 お茶

A-14. Altéia (学 *Althaea officinalis*, アオイ科, Malvaceae)

別名 Malvaisco,  
生態性状 中央アジア原産。湿地に多い多年生植物。草丈 1m。欧米で栽培。  
利用部位 根(輸入)  
化学成分 粘質物、アスパラギン、脂肪酸  
薬効 セキどめ、発汗剤、外傷のはれ  
用法用量 5%のお茶。日量500ml(エキス 20ml)

A-15. Amaranto (学 *Amaranthus virides*, ヒユ科, Amaranthaceae)

別名 Bredo, Caruru, Caruru-de-folha-larga, Caruru-gigante  
生態性状 数千年前からインジオに知られ世界中に分布している草本。  
利用部位 葉、根  
化学成分 精油  
薬効 気管支炎、セキどめ、タン切り。下剤(根)  
用法用量 お茶又は吸入。根はせんじ薬。

A-16. Amêndoa (学 *Amygdalus communis*, バラ科, Rosaceae)

別名  
生態性状 アフリカ原産の樹木。ブラジル南端のRio Grande do Sul 州に定着。  
利用部位 種実と、これから抽出した油分  
化学成分 配糖体、脂肪酸  
薬効 皮膚炎、セキどめ、下剤、けいれん止め。  
用法用量 5%のお茶。日量 50ml。油は外傷のはれにつける。

A-17. *Angélica* (学 *Angelica archangelica*, セリ科, Umbeliferae)

別 名  
生態性状 草丈 1.5-2.5m。北欧原産だが、ブラジル南部各地に定着。  
利用部位 根(輸入)、種子  
化学成分 精油、タンニン、樹脂  
薬 効 利尿、消化器の機能促進  
用法用量 5%のお茶。日量 200ml (エキス 10ml)

A-18. *Angico* (学 *Piptadenia colubrina*, マメ科, Leguminosae)

別 名 *Angico-branco*, *Cambui*, *Paricá*  
生態性状 *Para*⇒*Sao Paulo* 州に分布する樹高 30mに達する大木。  
利用部位 樹皮、樹脂  
化学成分 タンニン、色素、樹脂、粘質物  
薬 効 樹皮は収れん剤、樹脂はセキ、喘息、気管支炎の治療。外傷の手当。  
用法用量 5%のお茶。日量 200ml (エキス 10ml)

A-19. *Anis* (学 *Pimpinella anisum*, セリ科, Umbeliferae)

別 名 *Anis-verde*, *Erva-doce*, *Pimpinela*  
生態性状 欧州アジアから、18世紀にはいった草丈 50cm の草本。  
利用部位 種子  
化学成分 精油、樹脂  
薬 効 胃腸の消化機能改善、鎮静剤、利尿、母乳のひ乳促進  
用法用量 4%のお茶

A-20. *Angustura* (学 *Cusparia angustura*, ミカン科, Rutaceae)

別 名  
生態性状 南米大陸原産、特に *Orenoco*河沿岸に多い。  
利用部位 樹皮  
化学成分 アルカロイド、精油、配糖体  
薬 効 解熱剤  
用法用量 2%のお茶。日量 200ml。

A-21. Aperta-ruão (学 *Piper aduncum*, コショウ科, Piperaceae)

別名 Pimenta-de-fruto-ganchoso,  
生態性状 ブラジル北部、東北部に自生する1m程度のカン木。  
利用部位 根を除く全草  
化学成分 タンニン、精油、樹脂  
薬効 利尿、痔疾  
用法用量 2%のお茶。日量 200ml (エキス 4ml)。外用は 5% のせんじ薬。

A-22. Arnica (学 *Arnica montana*, キク科, Compositae)

別名 局方収載。Arnica-verdadeira, Tabaco-de-montanha  
生態性状 欧州の山岳地帯原産。ブラジルは薬用に全量輸入。  
利用部位 全草 (輸入)  
化学成分 精油、樹脂、色素  
薬効 内服、心鼓動刺激、血流促進。外用、外傷の手当。  
用法用量 1%のお茶。日量 200ml。(エキス 2ml) 外用 10%せんじ薬。

A-23. Aroeira (学 *Schinus terebinthifolius*, ウルシ科, Anacardiaceae)

別名 Aguaraibá, Aroeira mansa/vermelha/do-brejo/do-sertão, Cambui  
生態性状 樹高 5-10m、樹径 30-60cm。Pernambuco⇒南Rio Grande州まで分布。  
利用部位 樹皮、葉  
化学成分 タンニン、精油  
薬効 呼吸器、消化器、利尿。葉のせんじ汁は、痛風、リウマチの痛み軽減。  
用法用量 2%のお茶。

A-24. Artemisia (学 *Artemisia vulgaris*, キク科, Compositae)

別名 Erva-de-são-joão, Flor-de-sao-joão Artemigem  
生態性状 全欧原産。ブラジルでも各地に栽培。雨期の始め株分てふやす。  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油、樹脂、タンニン  
薬効 胃炎、肝、腎臓炎、リウマチ、貧血、寄生虫、生理  
用法用量 3%のお茶、日量 200ml。(エキス 5ml)

A-25. Arruda (学 *Ruta graveolens*, ミカン科, Rutaceae)

別名  
生態性状 1m位のカン木。南欧から移植、中南部に栽培。  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油、フラボノイド (ルチン、フロクマリン)  
薬効 生理調整。腸、リュウマチの痛み軽減。  
用法用量 2%のお茶。妊婦は利用不可。流産の危険あり。

A-26. Assa-peixe (学 *Vernonia polyanthes*, キク科, Compositae)

別名 Cambará-guaçu/branco, Chamarrita  
生態性状 樹高 3m のカン木。ブラジル原産。Bahia ⇨Parana州の平地に見られる。  
利用部位 葉、根  
化学成分 アルカロイド、配糖体、フラボノイド、精油  
薬効 カゼ、気管支炎等呼吸器疾患、利尿、結石除去。  
用法用量 お茶 (根)

A-27. Avenca (学 *Adiantum capillus-veneris*, ワラビ科, Pteridaceae)

別名 Samambaia  
生態性状 欧州原産だが、ブラジルの気候土壤に順化して観葉植物として栽培。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 気管支炎、セキ、のどの痛み軽減、去たん。  
用法用量 2%のお茶

A-28. Azedinha(学 *Oxalis acetosella/corniculata*, カタバミ科, Oxalidaceae)

別名 カタバミ  
生態性状 ホフク莖で繁殖する多年生草本。ブラジルには南東部、南部に分布。  
利用部位 葉、根  
化学成分 精油  
薬効 解熱剤、肝炎、腎臓結石除去。壊血病 (根)  
用法用量 お茶。青汁 (外傷)

B-01. Babosa (学 Aloe vera, ユリ科, Liliaceae)

別名 局方収載。Aloe, Caraguatá, Erva-babosa  
生態性状 草丈 0.6-1.5m の多肉植物。原産地は熱帯アメリカ、薬局方収載。  
利用部位 葉  
化学成分 配糖体、タンニン、粘質物  
薬効 便秘、頭髪用トニック、外傷のはれ、湿疹、火傷、ハゲ、痔  
用法用量 外用

B-02. Badiana (学 Illicium verum, モクレン科, Magnoliaceae)

別名 局方収載。Anis-estrela, Anis-da-china, 大ウイキョウ  
生態性状 中国原産で東南アジアに多く見られる。樹高 15mの高木。  
利用部位 種子(輸入)  
化学成分 精油、樹脂、タンニン  
薬効 セキ止め、腸内ガスの手当  
用法用量 1%のお茶 日量 150ml

B-03. Bálsamo-de-copaíba (学 Copaiba spp, マメ科, Leguminosae)

別名 Bálsamo-de-copari, Bálsamo-de-copachu  
生態性状 南米、特にブラジルに多い。樹皮から粘液状の黄色の樹脂をとる。  
利用部位 樹皮  
化学成分 樹脂、精油  
薬効 皮膚病  
用法用量 外用専門

B-04. Bálsamo-do-peru (学 Myroxylum balsamum, マメ科, Leguminosae)

別名 Bálsamo-de-são-salvador, Bálsamo-de-sonsonata  
生態性状 ペルー原産。樹皮に傷をつけて、樹脂を採集する。  
利用部位 樹皮  
化学成分 樹脂  
薬効 局所消毒剤、皮膚寄生虫の手当  
用法用量 外用



B-05. Bálsamo-de-tolu (学 *Toluidra balsamum*, マメ科, Leguminosae)

別名 Bálsamo-americano, Bálsamo-índico  
生態性状 南米、特にコロンビア、ベネズエラ原産。  
利用部位 樹皮、樹脂  
化学成分 樹脂  
薬効 局部の消毒、セキどめ、カゼの吸入剤  
用法用量 外用

B-06. Barbatimão (学 *Stryphlinodendron barbatiman*, マメ科, Leguminosae)

別名 Paricarana, Uabatimô  
生態性状 樹高 5-7m の樹木。皮革なめし用のタンニンをとる原料。ブラジル原産。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン、樹脂、粘質物  
薬効 収れん剤、出血防止、強壯剤  
用法用量 お茶。外用は湿布、浴剤。

B-07. Bardana (学 *Arctium lappa*, キク科, Compositae)

別名 ゴボウ  
生態性状 日本では野菜だが、ブラジルでは薬用植物。  
利用部位 根、葉  
化学成分 配糖体、精油、粘質物、タンニン  
薬効 利尿、発汗、糖尿病治療ほか  
用法用量 お茶

B-08. Batata-de-purga (学 *Convolvulus operculata*, ヒルガオ科, Convolvulaceae)

別名 Jalapa, Jalapa-do-japão  
生態性状 サンパウロ州に多い草本。  
利用部位 根 (イモ)  
化学成分 精油  
薬効 皮膚病、下剤  
用法用量 お茶、外用

B-09. *Beladona* (学 *Atropa belladonna*, ナス科, *Solanaceae*)

別 名 局方収載。  
生態性状 欧州中南部原産。  
利用部位 葉、根 (輸入)  
化学成分 アルカロイド (有毒)  
薬 効 神経痛、リウマチ、耳の痛み等の鎮痛  
用法用量 外用 (湿布、ポマード)。内服は危険。

B-10. *Beldroega* (学 *Portulaca oleracea*, スベリヒユ科, *Portulacaceae*)

別 名 *Ora-pro-nobis*, スベリヒユ  
生態性状 乾燥地帯に多い。肉質の植物で野菜の代用になる。  
利用部位 茎葉、種子  
化学成分 精油  
薬 効 肝臓、腎臓、膀胱炎の治療、利尿、下剤、寄生虫、壊血病  
用法用量 お茶

B-11. *Benjoim* (学 *Stylax benzoin*, エゴノキ科, *Stylacaceae*)

別 名 *Estoraque*, アンソクコウノキ (安息香の樹)  
生態性状 アジア原産。  
利用部位 樹皮、樹脂 (輸入)  
化学成分 樹脂  
薬 効 消毒剤 (石鹼)  
用法用量 外用

B-12. *Boldo* (学 *Vernonia condensata*, キク科, *Compositae*)

別 名 *Aluman*, *Árvore-do-pinguço*, *Boldo-brasileiro*, *Falso-boldo*  
生態性状 アフリカ原産の高さ 2-3m のカン木。ブラジルで広く栽培。  
利用部位 葉  
化学成分 精油、タンニン、フラボノイド  
薬 効 肝臓の解毒剤、利尿、ゲリ止め、食欲増進  
用法用量 5%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

B-13. Boldo-do-chile (学 *Pneumus boludus*, モニミア科, Monimiaceae)

別 名  
生態性状 チリー原産。ブラジルに順化しない。  
利用部位 葉 (輸入)  
化学成分 アルカロイド、フラボノイド  
薬 効 胃液、胆汁の分泌促進、胆石除去  
用法用量 お茶

B-14. Bolsa-de-pastor (学 *Capsella bursa-pastoris*, アブラナ科, Cruciferae)

別 名 Panacea  
生態性状 欧州原産。Parana州以南に分布。1年生草本。  
利用部位 葉、根、青汁  
化学成分 精油  
薬 効 収れん剤、出血、吐き気、下痢止め。  
用法用量 お茶、水割り青汁。

B-15. Borragem (学 *Borrago officinalis*, ムラサキ科, Boraginaceae)

別 名  
生態性状 欧州原産。ブラジル南部の山岳地帯に見られる。  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油  
薬 効 利尿、外傷のはれ  
用法用量 お茶。花のエキスは発汗剤。

B-16. Brionia (学 *Bryonia dioica*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別 名 Norça-branca, Norça-vermelha, 英 Bryony  
生態性状 欧州原産の小型ツル性草本。  
利用部位 根 (輸入)  
化学成分 アルカロイド、樹脂、配糖体  
薬 効 催吐、利尿、緩下剤  
用法用量 15のお茶 日量 100ml (エキス 2ml)

C-01. Caapeba (学 *Pothomorphe umbellata*, ツツラフジ科, Menispermaceae)

別名 Pariparoba, Lençol-de-santa-bárbara, Malvaísco  
生態性状 サンパウロ州以北の海岸山脈内に自生している草丈 1.5m の草本。  
利用部位 葉、根  
化学成分 精油、粘質物  
薬効 消化剤、肝機能回復  
用法用量 お茶、青汁

C-02. Cabacinha (学 *Luffa operculata*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名 Buchinha-do-norte, Cabucinha  
生態性状 東北地方の乾ばつ地帯に生える。  
利用部位 種実 (鶏卵大)、葉  
化学成分 精油  
薬効 生理調整、ノドの痛みに吸入 (葉)  
用法用量 お茶

C-03. Cabeça-de-negro (学 *Trianosperma tayuya*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名 Cabeça-de-moleque, Tejuco  
生態性状 ブラジル原産、全土にみられるツル性植物。根の先端がイボイボの球状になっている。  
利用部位 根  
化学成分 フラボノイド、粘質物、色素  
薬効 関節炎、解熱剤、リウマチ、利尿  
用法用量 1%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

C-04. Caçau (学 *Aristolochia cyambifera*, ウマノスズクサ科, Aristolochiaceae)

別名 Camará-açu, Cipó-mil-homens, Jarrinha, Papo-de-galo/peru  
生態性状 ツル性植物。  
利用部位 樹皮、根  
化学成分 精油  
薬効 解熱剤、鎮痛、消化機能増進  
用法用量 4%のお茶

C-05. *Caferana* (学 *Picrolemma pseudocoffea*, ニガキ科, Simaroubaceae)

別名 Falso-café, Quina-amargosa  
生態性状 アマゾン熱帯雨林の2m内外のカン木。コーヒーの樹とよく似ている。  
利用部位 根  
化学成分 アルカロイド、樹脂  
薬効 解熱剤  
用法用量 1%のお茶、日量 200ml (エキス 5ml)

C-06. *Caferana* (学 *Tachia guyanensis*, リンドウ科, Gentianaceae)

別名 Jacaré-açu, Quássia-do-pará, Quina-guiana  
生態性状 アマゾン熱帯林の原産で、樹高 2m のカン木。樹幹が方形で中空。  
利用部位 種子  
化学成分 精油  
薬効 苦味健胃剤  
用法用量 お茶

C-07. *Cagaiteira* (学 *Stenocalyx dysentericus*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名 Cagaita  
生態性状 Bahia, Goiás州から S. Paulo州までのセラード、原野に自生。  
利用部位 葉、果実 (食べすぎると下痢する)  
化学成分 精油  
薬効 利尿 (葉)  
用法用量 お茶

C-08. *Caiapiá* (学 *Dorstenia brasiliensis*, クワ科, Moraceae)

別名 Caapiá, Caapiá-açu, Caapiá-mirim, Carapiá  
生態性状 ブラジル原産。地下茎があるので、火入れや乾ばつに耐えて原野に自生。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬効 解熱、下剤、利尿、骨折  
用法用量 お茶 骨折の場合、*Taiuia* (*Cayaponia tayuya*, ウリ科) と組合せる。

C-09. Cainca (学 *Chiococca brachiata*, アカネ科, Rutaceae)

別名 Cipó-cruz, Purga-preta, Raiz-fedorenta, Raiz-preta  
生態性状 ブラジル原産。高さ2mのツル性カン木。根は黒くて苦い。  
利用部位 根  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 利尿、下剤、生理調整、リウマチ  
用法用量 お茶

C-10. Calêndula (学 *Calendula officinalis*, キク科, Compositae)

別名 キンセンカ  
生態性状 欧州原産の草丈 20-50cmの草本。亜熱帯以南で栽培されている。  
利用部位 花(輸入)、茎葉  
化学成分 精油、フラボノイド、粘質物  
薬効 生理調整、胃潰瘍、外傷  
用法用量 お茶。外用は葉と花をペースト状に練合せ、患部にはる。

C-11. Camapu (学 *Physalis angulata*, ナス科, Solanaceae)

別名 Bucho-de-rã, Joa/Jua-de-capote, Mata-fome  
生態性状 アマゾン地方原産。学名 *Physa*= 水泡(果実の形)。  
利用部位 根  
化学成分 ステロール、アルカロイド  
薬効 肝炎、マラリア、神経安定、鎮静、リウマチ  
用法用量 お茶

C-12. Camará (学 *Lantana camara*, クマツツラ科, Verbenaceae)

別名 Camará, Camará-de-espinho/cheiro 他  
生態性状 ブラジル原産。ほぼ全国に広がる。繁殖は、種子または挿木。  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油  
薬効 呼吸器疾患、解熱、リウマチ  
用法用量 お茶

C-13. *Camboatá* (学 *Picramia camboatá*, ムクロジ科, Sapindaceae)

別名 *Camboatá*, *Camboita*, *Cambota*  
生態性状 ブラジル原産。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 強壯剤、解熱、強心剤  
用法用量

C-14. *Camomila* (学 *Matricaria chamomilla*, キク科, Compositae)

別名 *Matricária*, *Macela-do-campo*  
生態性状 欧州原産。草丈 40cm の 1年生草本。S. Paulo⇒Paraná州が主産地。  
利用部位 花  
化学成分 フラボノイド、精油  
薬効 鎮静剤、発汗剤、胃腸炎、不眠症、皮膚炎  
用法用量 花茶

C-15. *Cana-de-macaco* (学 *Costus spicatus/spiralis*, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名 *Cana-do-brejo/mato*, *Cana-roxa*, *Jacuacanga*, *Periná*, *Ubacaiá*  
生態性状 前者が *Amazônia* ⇒ *Pernambuco* 後者が *Paraíba* ⇒ S. Paulo 州で栽培。  
利用部位 地下茎  
化学成分 精油  
薬効 利尿  
用法用量 2%のお茶

C-16. *Canela-branca* (学 *Nectandra magapotamica*, クスノキ科, Lauraceae)

別名 *Canela-cheirosa*  
生態性状 8-13m の樹木で、全国に分布。花と種実は芳香をはなつ。  
利用部位 樹皮、葉  
化学成分 精油  
薬効 健胃剤  
用法用量 2%のお茶

C-17. Capim-limão (学 *Cymbopogon citratus*, イネ科, Gramineae)

別名 Capim-cidreira/cheiroso/santo レモンかや  
生態性状 草丈 50cm 位の多年生草本。葉から芳香を放つ。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 発汗、カゼ、整腸健胃、鎮静  
用法用量 2%のお茶

C-18. Capuchinha (学 *Tropaeolum majus*, ノウゼンハレン科, Tropaeolaceae)

別名 Chagas, Chagueira, Sapatinho-do-diabo, キンレンカ  
生態性状 ペルー原産。観賞用に栽培。  
利用部位 葉  
化学成分 配糖体  
薬効 壊血病、湿疹、タダレ等皮膚病  
用法用量 お茶、外用

C-19. Carapiá (学 *Sida macrodon*, アオイ科, Malvaceae)

別名 Malva-do-campo  
生態性状 東部から南部地方に分布。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬効 利尿、発汗  
用法用量 2%のお茶

C-20. Cardo-santo (学 *Cnicus benedictus*, キク科, Compositae)

別名 Argemona, Figueira-do-inferno, Papoula-espinhosa, アザミケシ  
生態性状 インド原産だが、栽培期間中の気温20℃地帯に広まった。  
利用部位 茎葉(はく皮する、輸入)  
化学成分 精油  
薬効 消毒剤、解熱剤、皮膚病  
用法用量 お茶、外用は濃厚エキスをつくる。



C-21. Caroba-do-canto (学 *Jacaranda caroba*, ノウゼンカズラ科, Bignoniaceae)

別 名  
生態性状 ブラジル原産のカン木。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬 効 皮膚病、アメーバ性下痢、利尿  
用法用量 お茶、外用はエキスをつくる。

C-22. Carqueja (学 *Baccharis trimera*, キク科, Compositae)

別 名 *Carqueja-doce*, *Carquejinha*,  
生態性状 草丈 1m。S. Paulo 州以南の各地で、低湿地に多く見られる。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油  
薬 効 整腸健胃剤、食欲増進、利尿  
用法用量 お茶

C-23. Carrapicho-rasteiro (学 *Acanthospermum xanthioides*, キク科, Compositae)

別 名 *Carrapicho-de-carneiro*, *Espinho-de-agulha*, *Poejo-da-praia*,  
生態性状 小型、ほふく茎(Rasteiro)で繁殖する。1 年生。全国に分布。  
利用部位 葉、根  
化学成分 粘質物  
薬 効 消化促進、ゲリ止め  
用法用量 お茶

C-24. Caruru-de-espinho (学 *Amaranthus spinosus*, ヒユ科, Amarathaceae)

別 名 *Bredo-branco*, *Bredo-de-espinho*, *Bredo-de-santo-antonio*  
生態性状 アンデス高地原産だが、世界中に広がった。種子で繁殖。  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油  
薬 効 利尿、下剤、セキ止め  
用法用量 お茶

C-25. Carvalho (学 *Quercus* spp, ブナ科, Fagaceae)

別 名  
生態性状 世界各地に原産。樹高 40m, 樹径 2m という巨木もある。樹令100 年。  
利用部位 樹皮 (輸入)  
化学成分 タンニン、樹脂  
薬 効 収れん剤  
用法用量 5%のお茶 日量 200ml (エキス 10ml)

C-26. Casca-de-anta (学 *Drymis winteri*, モクレン科, Magnoliaceae)

別 名 Caá-pororoca, Melambo, Paratudo  
生態性状 ブラジル原産の低木。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン  
薬 効 疲労回復、健胃整腸  
用法用量 お茶

C-27. Casca-d'anta-brava(学 *Rauwolfia bahiens*, キョウチクトウ科, Apocinaceae)

別 名 Catare, Melambo, Puçazeiro  
生態性状 カン木。樹皮は非常に硬い。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン  
薬 効 下痢、胃腸不調、貧血  
用法用量 お茶

C-28. Cáscara-sagrada (学 *Rhamnus purshiana*, クロウメモドキ科, Rhamnaceae)

別 名 局方収載  
生態性状 北米原産の樹木。  
利用部位 樹皮 (輸入)、枝  
化学成分 タンニン、配糖体、精油  
薬 効 下剤  
用法用量 2%のお茶 日量 30-100ml (エキス 5ml)

C-29. Cascariilha (学 *Croton eluteria*, トウダイグサ科, Euphorbiaceae)

別名 他に、*Croton glandulosus/lobatus/lundianus* あり  
生態性状 中南米原産の小木。Amazônia⇒Goias に分布。  
利用部位 樹皮 (輸入)  
化学成分 タンニン、樹脂、精油  
薬効 下痢どめ、殺菌剤  
用法用量 うがい、2%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

C-30. Castanha-da-índia (学 *Aesculus hippocastanum*, ムクロジ科, Sapindaceae)

別名  
生態性状 アジア、アメリカ大陸原産の原木で、今日世界中に分布。  
利用部位 種実 (輸入)  
化学成分 タンニン  
薬効 痔疾、静脈瘤、静脈炎  
用法用量 お茶、外用

C-31. Catinga-de-mulata (学 *Leucas martinicensis*, シソ科, Labiatae)

別名 Cordão-de-frade/são-francisco, Pau-de-praga  
生態性状 高さ 1m の 1年生草本。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 リューマチ、痛風、喘息、浴用  
用法用量 お茶

C-32. Catinga-de-mulata (学 *Tanacetum vulgare*, キク科, Compositae)

別名 ヨモギギク, Lombrigueira  
生態性状 少量のショウノウ (樟脳) を含有  
利用部位 葉、花序  
化学成分 精油  
薬効 腸内寄生虫駆虫剤、外用は筋肉、関節痛の治療  
用法用量 お茶

C-33. Catuaba (学 *Erythroxylum catuaba*, コカノキ科, *Erythroxylaceae*)

別名 Pau-da-resposta, Pir-ta-cara  
生態性状 北部、東北部地方の原産だが全国に分布  
利用部位 樹皮  
化学成分 精油  
薬効 神経系の強壯剤。強精剤  
用法用量 お茶

C-34. Cavalinha (学 *Equisetum pyramidale*, トクサ科, *Equisetaceae*)

別名 Erva-canudo, Lixa-vegetal, Rabo-de-cavalo  
生態性状 高さ 0.8-1.3m の多年生草本。中部⇒南部に分布。地下茎で繁殖。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油  
薬効 利尿剤  
用法用量 お茶

C-35. Celidônia (学 *Chelidonium majus*, ケシ科, *Papaveraceae*)

別名 Erva-das-verrugas, Erva-dos-calos, Queridônia, クサノオウ  
生態性状 欧州、アジア原産。草丈 1.5m。  
利用部位 全草  
化学成分 アルカロイド  
薬効 外用鎮痛剤、肝炎、  
用法用量 外用 (内服は医師の指導を受ける)

C-36. Centáurea menor (学 *Erythraea centaurium*, リンドウ科, *Gentianaceae*)

別名 Quebra-febre, Fel-da-terra  
生態性状 北半球原産の草丈 50cm の草本。  
利用部位 花序、全草 (輸入)  
化学成分 粘質物、配糖体  
薬効 解熱、消化不良  
用法用量 3%のお茶。日量 200ml (エキス 5ml)

C-37. *Centella-asiatica* (学 *Centella asiatica*, セリ科, Umbeliferae)

別 名  
生態性状 マダガスカル原産だが、世界の熱帯地方に広がっている。  
利用部位 葉、全草 (輸入)  
化学成分 精油、配糖体  
薬 効 皮膚病 痔疾  
用法用量 クリーム、ポマーダを調製する。

C-38. *Cerefolio* (学 *Anthriscus cerefolium*, セリ科, Umbeliferae)

別 名 *Cerefolha*, 英 *Chervil*  
生態性状 草丈 1m 内外の香辛料植物。  
利用部位 葉  
化学成分 精油、フラボノイド  
薬 効 利尿、生理調整  
用法用量 1%のお茶 日量 200ml

C-39. *Cervina* (学 *Rhamnus cathartica*, クロウメモドキ科, Rhamnaceae)

別 名 *Espinho-cervina*, *Escambroeiro*  
生態性状 ブラジル原産の小木。  
利用部位 果実  
化学成分 配糖体、タンニン、色素  
薬 効 強力下剤  
用法用量 5%のお茶 日量 200ml (エキス 10ml)

C-40. *Cevadilha* (学 *Schoenocaulon officinale*, ユリ科, Liliaceae)

別 名 英 *Cevadilla*, *Sabadilla*  
生態性状 メキシコ原産だがブラジルにも順化している。  
利用部位 種子  
化学成分 アルカロイド、色素  
薬 効 外部寄生虫駆除剤、鎮静剤  
用法用量 1%のお茶 日量50ml、外用なら 5% エキス

C-41. Chapéu-de-couro (学 *Echinodorus macrophyllus*, オモダカ科, Alismataceae)

別 名      Chá-do-brejo, Chá-mineiro  
生態性状    水辺、低湿地に多い草本。  
利用部位    葉  
化学成分    精油、タンニン  
薬 効        利尿、肝炎、リウマチ  
用法用量    5%のお茶 日量 200ml(エキス 10ml)

C-42. Cinerária (学 *Senecio cineraria*, キク科, Compositae)

別 名        *Senecio brasiliensis* (駆虫剤。外傷の手当)  
生態性状    欧州原産の、草高1mの草本で、灰色の葉をしているのですぐわかる。  
利用部位    葉、花  
化学成分    アルカロイド、フラボノイド、タンニン  
薬 効        外傷のはれ、結膜炎ほか眼科疾患  
用法用量    外用専門。眼科治療の場合は医師の指示を受ける

C-43. Cipó-cabeludo (学 *Mykania hirsutissima*, キク科, Compositae)

別 名        Erva-dutra  
生態性状    中西部以南に分布  
利用部位    全草  
化学成分    精油、フラボノイド  
薬 効        利尿、ひ尿器疾患  
用法用量    お茶

C-44. Cipó-carneiro (学 *Ecmites suberosa*, キョウチクトウ科, apocinaceae)

別 名        Capa-homem, Cipó-de-mucuna  
生態性状    ブラジル原産のツル性植物。  
利用部位    全草  
化学成分    アルカロイド、樹脂  
薬 効        痔疾  
用法用量    2%のお茶 日量 200ml(エキス 5ml)

C-45. Cipó-chumbo (学 *Cuscuta racemosa*, ヒルガオ科, Convolvulaceae)

別名 Tinge-ovos, cipó-dourado, Aletria-de-pau  
生態性状 ブラジル原産の多年生寄生植物。光合成をしない。東北⇒南部に分布。  
利用部位 茎  
化学成分 精油、配糖体、アルカロイド  
薬効 下剤、利尿。  
用法用量 3%のお茶 日量 200ml, エキス 5ml

C-46. Cipó-cravo 学 *Tynnanthus fasciculatus*, ノウゼンカズラ科, Bignoniaceae)

別名 Cipó-trinidade  
生態性状 E. Santo, Rio, Minasの3州に分布。芳香がCravo-da-judeia に似る。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油  
薬効 腸内ガス、下痢、駆虫  
用法用量 4%のお茶

C-47. Cipó-de-jatoba (学 *Fevillea trilobata*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名 Cipó-de-jabuti, Fava-de-santo-inacio, Guapeva  
生態性状 Bahia ⇒ S. Pauloに分布するツル性植物。  
利用部位 茎葉、種子  
化学成分 配糖体、樹脂  
薬効 下剤、リウマチ、黄だん  
用法用量 1%のお茶 日量 20ml

C-48. Cipó-suma (学 *Anchiela salutaris*, スミレ科, Violaceae)

別名 Piriguara  
生態性状 ブラジル原産。東部⇒南部の海岸山脈内に分布。  
利用部位 根、樹皮  
化学成分 精油  
薬効 唾液分泌増加、外傷の治療、下剤  
用法用量 お茶

C-49. Coité (学 *Crescentia cujeta*, ノウゼンカズラ科, Bignoniaceae)

別名 Cuieira, Cabeceira, Árvore-de-cuia, cuité  
生態性状 南米原産。ブラジルでは、Amazonas⇒Rio に分布。  
利用部位 葉  
化学成分 樹脂、粘質物  
薬効 利尿  
用法用量 5%のお茶 日量 200ml

C-50. Coco-de-purga (学 *Joannesia princeps*, トウダイグサ科, Euphorbiaceae)

別名 Andá-açu, Cutieira, Purgados-paulistas, Fruta-de-arara  
生態性状 Rio 州と隣接州の海岸に近い砂土地帯。長さ 8cm位の核果がつける。  
利用部位 樹皮、種子  
化学成分 タンニン  
薬効 下剤  
用法用量 種実 2-3粒。

C-51. Cola (学 *Cola nitida*, アオギリ科, Sterculiaceae)

別名 Guru, Noz-de-cola  
生態性状 アフリカ原産の大木。  
利用部位 種子  
化学成分 カフェイン、タンニン  
薬効 強心剤、利尿  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

C-52. Colofônio (学 *Pinus palustris*, マツ科, Pinaceae)

別名  
生態性状 アメリカに自生。  
利用部位 樹脂 (Colophony)  
化学成分 精油  
薬効 利尿、強壯  
用法用量 1%のお茶。 日量 100ml。



C-53. Condurango (学 *Marsdenia condurango*, ガガイモ科, Asclepiadaceae)

別 名 Cipó-do-condor  
生態性状 中南米原産のツル性植物。ブラジルでは、Amazonas⇒Minas 州に分布。  
利用部位 樹皮 (輸入)  
化学成分 配糖体、樹脂、タンニン  
薬 効 消化促進、胃潰瘍の鎮痛  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml

C-54. Confrei (学 *Symphytum officinale*, ムラサキ科, Boraginaceae)

別 名  
生態性状 北欧原産、ブラジルでは80年代から大規模栽培。繁殖は株分けから。  
利用部位 葉、地下茎  
化学成分 粘質物、タンニン  
薬 効 外傷の回復、気管支炎、セキ等の呼吸器疾患、胃潰瘍  
用法用量 2%のお茶

C-55. Congonha-de-bugre(学 *Villaresia congonha*, クロタキカズラ科, Icacinaceae)

別 名 Congonha-falsa, Congonha-do-sertão, Chá-de-bugre, Erva-de-anta  
生態性状 Goiás ⇒Parana州に分布。乾燥石れき地に多く見られる。種子繁殖。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬 効 利尿、強心剤、腎臓炎、結石溶解  
用法用量 2%のお茶

C-56. Copaíba (学 *Copaifera officinalis*, マメ科, Leguminosae)

別 名 Copaíba-da-varzea, Óleo-vermelho, Pau-d'oleo  
生態性状 Amazonas⇒Paraná州に約20種。1本の樹木から 20lの赤油がとれる。  
利用部位 樹幹 (樹脂)  
化学成分 タンニン、樹脂  
薬 効 外傷の回復促進、  
用法用量 外用

C-57. Cordão-de-frade (学 *Leonotis nepetaefolia*, シソ科, Labiatae)

別名 Cordão-de-são-francisco, Cauda-de-leão, Rubim, Coridiba  
生態性状 アフリカ原産の植物だが、ブラジル海岸地帯に定着している。種子繁殖。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油  
薬効 喘息、呼吸器疾患、利尿、リュウマチ  
用法用量 お茶

C-58. Coronha (学 *Acacia farnesiana*, マメ科, Leguminosae)

別名 Esponja, Esponjeira  
生態性状 Amazônia⇒MatoGrosso州に分布する小木。アラビアゴム状樹脂がとれる。  
利用部位 樹皮、根  
化学成分 樹脂  
薬効 鎮静剤  
用法用量 3%のお茶。

C-59. Crataego (学 *Crataegus oxyacantha*, バラ科, Rosaceae)

別名 (局方収載) Espinheiro-branco, Espinheiro-alvar, サンザシ  
生態性状 樹高 2-4m のトゲのある樹。やせた砂地を好む。若葉を禁煙に利用。  
利用部位 樹皮、花、果実  
化学成分 フラボノイド、配糖体  
薬効 強心剤、利尿、鎮痛、不眠症  
用法用量 2%のお茶 (医師の指導で飲用)

C-60. Cravo-de-defunto (学 *Tagetes minuta/patula*, キク科, Compositae)

別名 Cravo-de-urubu, Cravo-bravo, Erva-fedorenta, Estrondo  
生態性状 メキシコ原産。アマゾン以外のブラジル各地で栽培。花と葉は殺虫剤。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 下剤、発汗、リュウマチ、駆虫剤  
用法用量 お茶

C-61. Cravo-da-índia (学 Syzygium aromaticum, フトモモ科, Myrtaceae)

別名 チョウジ (丁字)、英 Clove tree  
生態性状 モルッカ原産。ブラジルでも栽培。樹高 4-7m。香料作物。  
利用部位 花蕾  
化学成分 精油(14-21%)  
薬効 健胃剤、殺菌剤、気管支炎  
用法用量 お茶

C-62. Cubeba (学 Piper cubeba, コショウ科, Piperaceae)

別名 Cubela, Pimenta-cubeba  
生態性状 Pimenta-do-reino (黒コショウ) と同科。  
利用部位 種実  
化学成分 精油、樹脂、脂肪酸  
薬効 タン切り、利尿、殺菌剤  
用法用量 5%のお茶。 日量 300ml。エキス15ml。

C-63. Cumari (学 Capsicum cumarim, ナス科, Solanaceae)

別名 Cumbari, Cumbarim, Pimenta-cumari  
生態性状 ブラジル各地に自生しているが栽培もある。種子繁殖。肥沃地を好む。  
利用部位 葉、果実  
化学成分 精油  
薬効 収れん剤、殺菌剤、口中炎、のどの炎症  
用法用量 お茶の形で、ウガイ、痔疾の治療

C-64. Curcuma (学 Curcuma longa, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名 ウコン、英 Termelic  
生態性状 1年生草本。日本では九州沖縄に栽培。  
利用部位 地下茎  
化学成分 精油、色素  
薬効 健胃整腸剤、肝炎  
用法用量 お茶

D-01. Damiana (学 *Turnera ulmifolia*, ツルネラ科, Turnelaceae)

別名 T. angustifolia ほか数種あり。Albina, Chanana  
生態性状 草丈 0.4-0.6m の1年生草本。種子繁殖。北、中西部を除く全国に分布。  
利用部位 茎葉 (一部輸入)  
化学成分 精油  
薬効 消化不良、糖尿病、タンパク尿には特効。  
用法用量 お茶

D-02. Dedaleira (学 *Digitalis purpurea*, ゴマノハグサ科, Escrofurariaceae)

別名 局方収載。Digital, Erva-dedal, Luva-de-nossa-senhora  
生態性状 欧州原産のカン木。気候順化に成功したのはSanta Catarina州。  
利用部位 葉  
化学成分 ジギタリス (強心配糖体)、タンニン  
薬効 強心剤、利尿剤  
用法用量 1%のお茶 1回20ml、日量 100ml (医師の指導を要す)

D-03. Dente-de-leão (学 *Taraxacum officinale*, キク科, Compositae)

別名 西洋タンポポ  
生態性状 葉はサラダ野菜として利用可。  
利用部位 地下茎、根  
化学成分 配糖体、精油  
薬効 利尿、緩下剤、胃液分泌促進  
用法用量 お茶

D-04. Dorme-dorme (学 *Mimosa invisa/pudica*, マメ科, Leguminosae)

別名 Dormideira, Dorme-maria, Malícia, Mimosa  
生態生理 高さ 1-2m のトゲのある多年生草本。触ると葉を閉じる。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油  
薬効 利尿、膀胱結石除去、関節リュウマチ  
用法用量 お茶

D-05. Dormideira (学 *Papaver somniferum*, ケシ科, *Papaveraceae*)

別名 Papoula-branca, ケシ  
生態性状 麻薬原料であり、栽培、生産ともに厳重に制限されている。  
利用部位 花(子房)  
化学成分 アルカロイド、樹脂  
薬効 鎮静剤、セキ、  
用法用量 日量 エキス 5ml (医師の指導を要する)

D-06. Douradão (学 *Policourea rigida*, アカネ科, *Rubiaceae*)

別名 Douradinha-do-campo, Dourada-grande, Gritadeira, Batedeira  
生態性状 ブラジル原産。Pará⇨S. Paulo州のセラードに見られる。種子繁殖。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 利尿、強心、リウマチ  
用法用量 お茶

D-07. Douradinha (学 *Asplenium abscissim*, チャセンシダ科, *Aspleniaceae*)

別名 *A. auritum* もあり。  
生態性状 着生シダ。  
利用部位 葉、  
化学成分 精油  
薬効 セキどめ  
用法用量 お茶

D-08. Duboisia (学 *Duboisia myoporoides*, ゴマノハグサ科, *Escrofulariaceae*)

別名  
生態性状 中国、日本原産。ブラジルでは S. Paulo/Paraná 州で栽培。  
利用部位 葉  
化学成分 アルカロイド(*Escopolamina*)  
薬効 強力鎮痛剤(*Buscopan* の製造原料)  
用法用量 家庭での利用不可

E-01. Elemi (学 *Protium heptaphyllum*, カンラン科, Burseraceae)

別名 Almécega, Goma-limão  
生態性状 ブラジル原産。  
利用部位 樹脂  
化学成分 樹脂(レモン香)精油  
薬効 局所殺菌剤  
用法用量 外用(ポマード、プラスター)

E-02. Embaúba (学 *Cecropia glaziovix*, クワ科, Moraceae)

別名 Imbaúba, Umbaúba, Árvore-de-preguica, Torém, Baibeira  
生態性状 樹高 20-30m の高木。アマゾンの高温多湿の地帯に多く見られる。  
利用部位 根、葉、新芽  
化学成分 タンニン、フラボノイド  
薬効 呼吸器疾患、利尿  
用法用量 2%のお茶

E-03. Endro (学 *Anethum graveplens*, セリ科, Umbeliferae)

別名 Aneto, 英 Dill, イノンド  
生態性状 南欧原産。草丈 0.3-1.0m の1年生草本。  
利用部位 種子  
化学成分 精油  
薬効 胃腸のガス、口内炎、  
用法用量 お茶

E-04. Enula-campana (学 *Inula helenium*, キク科, Compositae)

別名 Enula  
生態性状 欧州原産、ブラジルに順化ずみ。オオグルマ(*Inula helenium*)と同属。  
利用部位 地下茎、根  
化学成分 精油  
薬効 去痰、呼吸器疾患、利尿、発汗  
用法用量 お茶

E-05. Erva-baleeira (学 *Cordia verbenacea*, ムラサキ科, Boraginaceae)

別名 Maria-milagrosa, Maria-preta, Catinga-de-barão  
生態性状 3m程度のカン木。Amazônas⇒南 Rio Grande、特に海岸地帯に分布。  
利用部位 葉  
化学成分 フラボノイド、精油  
薬効 消炎剤、関節炎、リュウマチ  
用法用量 お茶

E-06. Erva-capitão (学 *Hydrocotyle umbellata*, セリ科, Umbelliferae)

別名 Acariçoba, Barbarosa, Cicuta-falsa, Lodagem, Pará-sol, Poncaga  
生態性状 草丈 30-90cmの多年生、小型、ホフク性、豆粒のような葉をつける。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 肝炎、利尿、リュウマチ、  
用法用量 1%のお茶

E-07. Erva-cidreira (学 *Melissa officinalis*, シソ科, Labiatae)

別名 Melissa, Apiastro  
生態性状 南欧原産の草丈 40-60cmの多年生草本。  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 消化剤、鎮静剤、不眠症  
用法用量 2%の葉、花茶

E-08. Erva-de-bicho (学 *Polygonum acre*, タデ科, Polygonaceae)

別名 Capicoba, Cataia, Pimenta-d'agua  
生態性状 アジア原産の草丈 1.0-1.5m の成長旺盛な植物。河川沿岸に多い。  
利用部位 全草  
化学成分 フラボノイド、タンニン、精油  
薬効 痔、生理調整、駆虫剤  
用法用量 3%のお茶。痔の手当は外用。

E-09. Erva-de-colégio (学 *Elephantopus mollis*, キク科, Compositae)

別名 Erva-grossa, Língua-de-vaca, Fumo-bravo, Fumo-da-mata  
生態性状 ブラジル原産。ほぼ全土に広がる。  
利用部位 葉、根  
化学成分 精油  
薬効 利尿、解熱、生理、気管支炎  
用法用量 お茶。外傷には外用。青汁は結石溶解

E-10. Erva-de-santa-maria(学 *Chenopodium ambrosioides*, アカザ科, Chenopodiaceae)

別名 Erva-formigueira, Erva-vomiqueira, Erva-santa, Mastruco, Canudo  
生態性状 メキシコ原産だがブラジル各地に生育。種子繁殖。  
利用部位 葉、花、種子  
化学成分 精油  
薬効 駆虫剤、呼吸器、心臓関係、外傷  
用法用量 1%のお茶。過量は危険。

E-11. Erva-doce (学 *Pimpinella anisum*, セリ科, Umbelliferae)

別名 Anis-verde, Pimpinela  
生態性状 ブラジルで最もよく利用される薬草。低湿地にはえる 1年生草本。  
利用部位 種実 (輸入)  
化学成分 精油  
薬効 胃腸のけいれん (激しい痛み) 母乳のひ乳促進  
用法用量 1%のお茶

E-12. Erva-macaé (学 *Leonurus sibiricus*, シソ科, Labiatae)

別名 Chá-de-frade, Cordão-de-são-francisco, Marroio, Rubim, メハジキ  
生態性状 シベリア原産だが、ブラジル南部、東南部に順化済み。種子繁殖。  
利用部位 葉、花  
化学成分 アルカロイド  
薬効 胃腸病、呼吸器疾患、リウマチ  
用法用量 お茶。リウマチには外用。



E-13. Erva-mate (学 *Ilex paraguariensis*, モチノキ科, Aquifoliaceae)

別 名  
生態性状 パラグアイ、ブラジル南部に自生。  
利用部位 葉  
化学成分 タンニン  
薬 効 利尿、強壯剤  
用法用量 お茶

E-14. Erva-moura (学 *Solanum nigrum*, ナス科, Solanaceae)

別 名 *Maria-preta*, *Pimenta-de-galinha*, *Solano*  
生態性状 欧州原産だがブラジルに順化ずみ。  
利用部位 根を除く全草  
化学成分 アルカロイド、サポニン  
薬 効 鎮痛、外傷（はれ、おでき、ただれ等）  
用法用量 1%のお茶 日量 25ml（エキス10滴）。外用は葉をもんで傷口につける。

E-15. Erva-tostão (学 *Boerhavia diffusa*, オシロイバナ科, Nyctaginaceae)

別 名 *Pega-pinto*, *Amarra-pinto*, *Tangara*, *Batata-de-porco*, *Solidonia*  
生態性状 草丈 0.8-1.6m の 2または多年生。ほふく性。種子繁殖。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬 効 利尿、黄疸、外傷  
用法用量

E-16. Escamônea (学 *Convolvulus scammonia*, ヒルガオ科, Convolvulaceae)

別 名  
生態性状 アジア原産だが、Goiás, Mato Grosso⇒S. Paulo州に広がるツル性草本。  
利用部位 根（イモ）  
化学成分 樹脂、配糖体、タンニン、樹脂  
薬 効 強力下剤  
用法用量 エキス 日量10滴。

E-17. Espinheira-santa (学 *Maytenus ilicifolia*, ニシキギ科, Celastraceae)

別 名 *Cancerosa*, *Coromilho-do-campo*, *Espinho-de-deus*, *Salvavidas*  
生態性状 樹高 2-3m の小木。葉の周辺にトゲがある。潰瘍に特効。  
利用部位 葉  
化学成分 タンニン、精油、樹脂  
薬 効 胃腸の異常発酵、皮膚病、利尿  
用法用量 お茶。 外傷には外用。

E-18. Estévia (学 *Stevia rebaudiana*, キク科, Compositae)

別 名  
生態性状 ステビア 150種のうち甘いのは、この1種のみ。草丈 0.4-1.2m の草本。  
利用部位 葉  
化学成分 配糖体、タンニン、サポニン、精油  
薬 効 利尿、糖尿病患者の糖分吸収阻害  
用法用量 1%のお茶 (糖尿病患者の服用は医師の指導を受ける)

E-19. Estramônio (学 *Datura stramonium*, ナス科, Solanaceae)

別 名 局方収載。 *Datura*, *Saia-branca*, *Erva-dos-feiticeiros*, *Zabumba*  
生態性状 草丈 0.4-1.2m の1年生草本。北、中西部を除く全国に分布。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油 (麻酔性あり)  
薬 効 鎮静、鎮痛、喘息、リュウマチ、神経性疾患  
用法用量 お茶

E-20. Eucalipto (学 *Eucalyptus globulus*, フトモモ科, Mirtaceae)

別 名  
生態性状 オーストラリア原産だが、ブラジルで最も多い植林樹種。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬 効 殺菌剤、発汗剤、カゼ一般  
用法用量 1%のお茶。カゼで吸入の場合も同様。

F-01. Falsa-melissa (学 *Lippia geminata*, クマツヅラ科, Verbenaceae)

別 名 Erva-cidreira-do-campo, Alecrim-do-campo, Salsa-brava  
生態性状 ブラジル原産。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬 効 鎮静剤、消化剤、筋肉ケイレンの軽減  
用法用量 お茶または外用

F-02. Fedegoso (学 *Cassia occidentalis*, マメ科, Leguminosae)

別 名 Mata-pasto, Pajamarioba, Folha-de-pagé, Mamangá  
生態性状 ブラジル原産。Amazônas⇒Paraná に分布するカン木。  
利用部位 根、樹皮  
化学成分 タンニン、精油  
薬 効 利尿、肝炎、皮膚病  
用法用量 お茶または外用

F-03. Fel-da-terra (学 *Erythraea centaureum*, リンドウ科, Gentianaceae)

別 名  
生態性状 ブラジル原産。  
利用部位 花序  
化学成分 精油、フラボノイド  
薬 効 食欲増進剤、胃腸内ガス除去  
用法用量 お茶 (食前 15-30分)

F-04. Feno-grego (学 *Trigonella foenum-graecum*, マメ科, Leguminosae)

別 名  
生態性状 草丈 0.4m の小草。  
利用部位 種子、全草 (輸入)  
化学成分 アルカロイド、粘質物、樹脂  
薬 効 痔疾に特効。心身強壯剤  
用法用量 外用とお茶

F-05. Folha-da-fortuna (学 *Bryophyllum calycinum*, ベンケイソウ科, Crassulaceae)

別 名 Coirama-branca, Folha-da-costa, Roda-da-fortuna, Paratudo, Saião  
生態性状 全国。  
利用部位 葉  
化学成分 配糖体、タンニン、粘質物  
薬 効 創傷の回復。利尿  
用法用量 お茶

F-06. Fruto-de-lobo (学 *Solanum lycocarpum*, ナス科, Solanaceae)

別 名 Lobeira, Jurubebão  
生態性状 ブラジル中部、東南部原産のトゲのある 2-4m のカン木。有毒植物。  
利用部位 果実、根  
化学成分 精油  
薬 効 肝炎、利尿、外傷  
用法用量 お茶。外用は果実を薄切りにして焼き、患部に張る。

F-07. Fumária (学 *Fumaria officinalis*, ケシ科, Papaveraceae)

別 名 Fumo-da-terra, Sangue-de-cristo  
生態性状 草丈 20-30cmの草本で、土壌は選ばない。  
利用部位 全草 (開花期、輸入)  
化学成分 アルカロイド、タンニン  
薬 効 消化、利尿  
用法用量 5%のお茶。 日量 200ml

F-08. Fura-paredes (学 *Parietaria officinalis*, イラクサ科, Urticaceae)

別 名 Erva-de-sant'ana, Quebra-pedra, Parietária  
生態性状 欧州原産なるもブラジルに順化ずみ。草丈 1.5m。  
利用部位 葉  
化学成分 フラボノイド、粘質物  
薬 効 肝、腎炎、結石除去、利尿  
用法用量 お茶

G-01. Galanga (学 *Alpinia officinarum*, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名	Galanga-menor
生態性状	中国南部、台湾に自生する多年生草本。
利用部位	根(輸入)
化学成分	精油、フラボノイド
薬効	健胃剤
用法用量	お茶

G-02. Gameleira (学 *Ficus doliaria*, クワ科, Moraceae)

別名	Figueira-branca, Figueira-brava
生態性状	ブラジル原産。Minas 州以南全域に分布。
利用部位	樹皮
化学成分	タンニン
薬効	駆虫剤
用法用量	お茶

G-03. Gardênia (学 *Gardenia grandiflora/hexagona*, アカネ科, Rubiaceae)

別名	Jasmin-do-cabo
生態性状	サンザシ( <i>Gardenia jasminoides</i> )の仲間。
利用部位	花
化学成分	精油
薬効	消炎、止血、利尿
用法用量	お茶

G-04. Genciana-brasileira (学 *Lisianthus pendulus*, リンドウ科, Gentianaceae)

別名	Ganciana-do-brasil, Raiz-amarga
生態性状	Bahia ⇨ Paraná州に分布。
利用部位	根(輸入する場合あり)
化学成分	アルカロイド、配糖体
薬効	胃液、胆汁の分泌促進、消化
用法用量	お茶

G-05. Gervão (学 *Stachytarphetta cayenensis*, クマツツラ科, Verbenaceae)

別名	Gervão-azul, Gervão-de-folha-de-verônica
生態性状	1-多年生。30-70cmの草丈。Mato Grosso を除く全国に分布。
利用部位	全草
化学成分	精油
薬効	解熱剤、利尿、痔疾、発汗、駆虫剤
用法用量	お茶。

G-06. Gravata (学 *Ananas microstachys*, パイナップル科, Bromeliaceae)

別名	Caraguatá, Ananás-selvagem
生態性状	0.8-1.2mの多年生、トゲのある草本。中西部特にMato Grosso に分布。
利用部位	果実
化学成分	精油、
薬効	消化促進、胃酸過多、気管支炎、
用法用量	お茶

G-07. Grindélia (学 *Grindelia robusta*, キク科, Compositae)

別名	Marmeque-do-campo
生態性状	アメリカ原産。
利用部位	花、葉 (輸入)
化学成分	樹脂、精油、タンニン、サポニン
薬効	セキどめ、強心剤
用法用量	2%のお茶 日量 200ml。

G-08. Guaçatonga (学 *Casearia sylvestris*, イイギリ科, Flacoureaceae)

別名	Erva-de-lagarto, Bugre-branco, Vassitonga
生態性状	熱帯アメリカ原産。樹高 4m。ブラジル全土に分布。種子繁殖。
利用部位	葉
化学成分	タンニン、樹脂、精油
薬効	呼吸器疾患、解熱、発汗、リウマチ、外傷
用法用量	2%のお茶、外用

G-09. Guaco (学 *Mykania glomerata/cordifolia*, キク科, Compositae)

別名 Erva-de-cobra, Cipó-caatinga/sucuriija, Guaco-liso/trepador  
生態性状 草丈 3-4m のツル性 1年生植物。南部を除く全国に分布。  
利用部位 茎葉  
化学成分 配糖体、樹脂、タンニン  
薬効 解熱、ノドのはれ、セキ、痛風、リウマチ  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml、外用

G-10. Guáiacó (学 *Guajacum officinale*, ハマビシ科, Zygophyllaceae)

別名 Pau-benedito, Pau-santo  
生態性状 メキシコ、中米に自生。  
利用部位 樹皮  
化学成分 樹脂、サポニン、色素  
薬効 強壯剤、リウマチに特効。  
用法用量 3%のお茶 日量 200ml。

G-11. Guaxima (学 *Urena lobata*, アオイ科, Malvaceae)

別名 Guaxuma, Guanxuma, Uaicima, Malva-roxa, Malvisco  
生態性状 高さ 1-2m の多年生カン木。Amazonia, Mato Grosso を除く全国に分布  
利用部位 全草  
化学成分 精油  
薬効 利尿、カゼ、胃痛、生理 タン切り (花)  
用法用量 お茶。

G-12. Guiné (学 *Petiveria tetrandura/alliacea* ヤマゴボウ科, Phytolaccaceae)

別名 Erva-pipi, Tipi, Tipu, Tipuana  
生態性状 草丈 1m。ニンニクのおいがる。有毒植物。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬効 腸の痛み、生理  
用法用量 0.5%のお茶で、しかも 1日スープさじ 1杯。要指示薬。

H-01. Hamamelis (学 Hamamelis virginiana, マンサク科, Hamamelidaceae)

別名 Aveleira-de-bruxa, Vassoura-de-bruxa  
生態性状 アメリカ原産の樹高 6m の中木。皮膚用化粧品原料。  
利用部位 葉、樹脂 (輸入)  
化学成分 タンニン  
薬効 痔疾。血液循環に特効。出血防止  
用法用量 5%のお茶。日量 200ml。外用あり。

H-02. Hati-de-espinho (学 Xanthium cavanillesii, キク科, Compositae)

別名 Carrapicho-bravo, Bardana-maior, Espinho-de-carneiro  
生態性状 草丈 0.8-1.6m の 1年生草本。Minas州以南の各地に分布。種子繁殖。  
利用部位 全草  
化学成分 精油  
薬効 皮膚病、潰瘍、収れん剤  
用法用量 外用 (家畜にとって有毒植物)

H-03. Hera (学 Hedera helix, ウコギ科, Araliaceae)

別名 Hedera  
生態性状 ほふく茎をもつ有毒植物。  
利用部位 葉、果実  
化学成分 精油、配糖体 (果実)  
薬効 神経系の鎮痛、潰瘍の手当  
用法用量 外用専門。

H-04. Hera-terrestre (学 Glechoma hederacea, シソ科, Labiatae)

別名 カキドオシ  
生態性状 ホフク茎をもつ。  
利用部位 全草  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 呼吸器、消化器 皮膚病  
用法用量 お茶。外用あり。



H-05. Hidraste (学 *Hydrastis canadensis*, キンボウゲ科, Ranunculaceae)

別名	局方収載
生態性状	アメリカ原産。ブラジルでは製剤輸入。
利用部位	地下茎 (輸入)
化学成分	アルカロイド、樹脂、色素
薬効	腸、子宮の出血、痔疾
用法用量	2%のお茶 日量 100ml (エキス 5ml)

H-06. Hissopo (学 *Hyssopus officinalis/alopecuroides*, シソ科, Labiatae)

別名	英 Hyssop, ヤナギハッカ
生態性状	西アジア、南欧原産。ブラジル南部で気候順化済み。草丈 20-60cm。
利用部位	葉 (輸入)
化学成分	精油
薬効	食欲増進、消化促進、タン切り。
用法用量	お茶

H-07. Hortelã-das-raças (学 *Stachys arvensis*, シソ科, Labiatae)

別名	Orelha-de-urso, Urtiga-mansa
生態性状	Minas 州以南の全土に分布。草丈 0.1-0.4m の1年生草本。
利用部位	全草
化学成分	精油
薬効	発汗、生理、強壯剤
用法用量	お茶

H-08. Hortelã-do-campo (学 *Marsypianthes chamaedrys*, シソ科, Labiatae)

別名	Paracará, Rabugem-de-cachorro
生態性状	草丈 30-60cmの1年生草本。北、中西部を除く全国に分布。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	食欲増進、解熱、リウマチ (外用)
用法用量	3%のお茶。

I-01. Imburana (学 *Bursera leptophlebos*, カンラン科, Burseraceae)

別名	Imburana-vaqueira, Umburana
生態性状	東北ブラジルの Caatinga 地方の小木。葉に芳香あり。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	利尿
用法用量	お茶

I-02. Imburana-de-cheiro (学 *Amburana cearensis*, マメ科, Leguminosae)

別名	Amburana-de-cheiro, Cerejeira-rajada, Cumaru-do-ceara
生態性状	Goias ⇒ S. Paulo州に分布する樹木。有用材を生産。
利用部位	樹皮、果実
化学成分	クマリン (全草、特に種子)
薬効	利尿
用法用量	お茶

I-03. Incenso(学 *Pittosporum undulatum/tenuifolium*, トベラ科, Pittosporaceae)

別名	
生態性状	ブラジルでも栽培 ( <i>Boswellia serrata</i> , カンラン科, Burseraceae)
利用部位	樹脂 (輸入)
化学成分	タンニン
薬効	利尿
用法用量	お茶

I-04. Índigo (学 *Indigofera suffruticosa*, マメ科, Leguminosae)

別名	Anileira, Anil, Indigueira, Timbó-mirim
生態性状	草丈 1-2m の多年生草本。種子繁殖。葉中に色素Indigotinaを含む。
利用部位	茎葉、根
化学成分	精油
薬効	鎮痛、解熱、下剤、利尿、黄疸 (根)、水銀の解毒
用法用量	お茶

I-05. Ipecacuanha (学 *Cephaelis ipecacuanha*, アカネ科, Rubiaceae)

別名	(局方収載) Cipó-emético, Ipeca, Poaia
生態性状	ブラジル中西部とアマゾンの原始林中に自生。絶滅の危険性あり。
利用部位	根
化学成分	タンニン、精油
薬効	下痢、気管支炎、発汗
用法用量	お茶

I-06. Ipecacuanha-falsa(学 *Asclepias curassavica*, ガガイモ科, Asclepiadaceae)

別名	Oficial/Capitão-de-sala, Camará-bravo, Mané-mole
生態性状	1年生の草丈 0.4-0.8m の草本。アマゾンと南部を除く全国に分布。
利用部位	根
化学成分	精油、配糖体
薬効	Berne(皮内寄生虫) 退治
用法用量	外用

I-07. Ipe-de-jardim (学 *Stenolobium stans*, ノウゼンカズラ科, Bignoniaceae)

別名	Guara-guara
生態性状	中米原産。樹高 6-7m のカン木。主として南部各地に栽培。
利用部位	根、葉、花、樹皮
化学成分	精油、タンニン、樹脂
薬効	強壯、利尿、糖尿病、胃痛
用法用量	お茶

I-08. Ipé-roxo (学 *Tabebuia avellanedae*, ノウゼンカズラ科, Bignoniaceae)

別名	Pau-d'arco (ス) Lapacho (現) Taheebo
生態性状	ブラジル原産。
利用部位	樹皮
化学成分	精油、タンニン
薬効	各種感染症、強壯剤
用法用量	お茶

J-01. Jaborandi (学 *Policarpus microphyllus*, ミカン科, Rutaceae)

別名 局方収載。  
生態性状 2m 程度のカン木。東北地方の Maranhão ほか 2州のみ生産。  
利用部位 葉  
化学成分 アルカロイド (Pilocarpina)  
薬効 発汗、唾液腺を刺激。養毛剤、リウマチ  
用法用量 お茶

J-02. Jalapa (学 *Dipladena amabilis*, ヒルガオ科, Convolvulaceae)

別名 Batata-de-purga  
生態性状 茎の赤いツル性植物。  
利用部位 根 (イモ)  
化学成分 樹脂  
薬効 下剤  
用法用量 2%のお茶。 日量 100ml

J-03. Jambo (学 *Eugenia jambo*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名 Jambo-rosa, Jambo-vermelho  
生態性状 アジア原産だが、ブラジル各地にみられる。  
利用部位 葉、果実  
化学成分 タンニン、精油  
薬効 収れん剤、食欲増進  
用法用量 5%のお茶。日量 200ml。

J-04. Jamelão (学 *Eugenia jambolana*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名 Jambolão, Jabão  
生態性状 高木。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン  
薬効 下痢 (樹皮) 糖尿病 (種子)  
用法用量 1%のお茶

J-05. Japocanga (学 *Smilax japocanga*, ユリ科, Liliaceae)

別名 Salsaparrilha-falsa.  
生態性状 トゲのあるツル性植物。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬効 リューマチ  
用法用量 お茶

J-06. Jatobá (学 *Hymenaea courbaril*, マメ科, Leguminosae)

別名 Jataí, Jutáí  
生態性状 アマゾン原産で、良質材を生産。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン  
薬効 呼吸器、ひ尿器、強壮剤  
用法用量 お茶。完熟果肉を煮て熱い牛乳と砂糖を加え、セキ気管支炎の治療に。

J-07. Jenipapo (学 *Genipa americana/brasiliensis*, アカネ科, Rubiaceae)

別名 Genipapo, Janipapo  
生態性状 熱帯アメリカ原産。ブラジル全土に分布。完熟果肉はワイン向け。  
利用部位 葉  
化学成分 精油、タンニン、色素  
薬効 下痢どめ、食欲増進、貧血、利尿  
用法用量 5%のお茶 日量 200ml。

J-08. Jequitibá, (学 *Carinaria* spp, サガリバナ科, Lecythidaceae)

別名 Jequitiba-rosa  
生態性状 分厚い樹皮をもつ大木。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン  
薬効 収れん剤、下痢、ヘントウ腺炎  
用法用量 3%のお茶。 日量 200ml。

J-09. Joá-de-capote (学 *Physalis angulata*, ナス科, Solanaceae)

別名	Joá, Camapu, Camaru, Balão-rajado, Juá-poca
生態性状	草丈 0.3-0.7m の1年生草本。中西部を除く全国に分布。
利用部位	全草
化学成分	精油
薬効	鎮静剤、リウマチ、耳の痛み、肝炎、利尿
用法用量	お茶

J-10. Junquinho (学 *Cyperus ferax*, カヤツリグサ科, Cyperaceae)

別名	Chufa, Capim-de-cheiro, Pêlo-de-sapato
生態性状	ブラジル全土の低湿地。種子、地下茎で繁殖。
利用部位	全草
化学成分	精油
薬効	胃疾患。筋肉痛
用法用量	お茶。外用(筋肉痛)

J-11. Jurema (学 *Pithecolobium tortum*, マメ科, Leguminosae)

別名	
生態性状	樹肌にトゲのある樹木。海岸地帯に多い。
利用部位	樹皮
化学成分	タンニン
薬効	収れん剤
用法用量	お茶

J-12. Jurubeba (学 *Solanum paniculatum*, ナス科, Solanaceae)

別名	Juripeba, Jupeba
生態性状	枝に曲ったトゲのあるカン木。直径 1cmの黄色の果実をつける。
利用部位	全草、根
化学成分	アルカロイド、ステロイド
薬効	胆汁の分泌促進。食欲増進
用法用量	お茶(ステロイドを含むので長期連用不可)

L-01. Laranja-azeda (学 *Citrus aurantium*, ミカン科, Rutaceae)

別名 Laranja-amarga, Laranja-da-terra  
生態性状 樹高2-3m、トゲのある樹肌  
利用部位 葉、花  
化学成分 精油  
薬効 食欲増進、消化剤。鎮静(花)  
用法用量 1%のお茶。

L-02. Lentilha-da-água (学 *Lemna minor*, ウキクサ科, Lemnaceae)

別名 Pasta-miúda, Caparosa, Pesca-miuda  
生態性状 水上植物。ランナーで繁殖。水の浄化作用大。東北と東南部に分布。  
利用部位 全草  
化学成分 精油  
薬効 血尿、糖尿病、ヘルニア(外用)  
用法用量 お茶、ペースト(外用)

L-03. Lírio-florentino (学 *Iris florentina*, アヤメ科, Iridaceae)

別名 Íris= アヤメ属。ニオイイリス。  
生態性状 欧州原産の多年生草本。  
利用部位 根(輸入)  
化学成分 精油  
薬効 健胃剤、利尿、消炎  
用法用量 お茶

L-04. Limoeiro-bravo (学 *Siparuna brasiliensis*, モニミア科, Monimiaceae)

別名 Limoeiro-do-mato, Cidreira-do-mato  
生態性状 ブラジル大西洋沿岸の雨林地帯原産。レモンに似た芳香がする。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 呼吸器疾患  
用法用量 1%のお茶

L-05. Língua-de-tucano (学 *Eryngium pristis*, セリ科, Umbelliferae)

別名	Língua-de-araçari
生態性状	Minas ⇨ 南 Rio Grande 州の砂質の原野に多い。種子繁殖。
利用部位	茎葉
化学成分	精油
薬効	利尿、殺菌、ヘントウ腺、カゼ
用法用量	お茶、ウガイ、吸入

L-06. Língua-de-vaca (学 *Chaptalia nutans*, キク科, Compositae)

別名	Erva-de-sangue, Fumo-de-mato, Costa-branca, Tapira
生態性状	ブラジル原産。
利用部位	葉、根
化学成分	精油
薬効	利尿、生理、肝炎、かいよう、強壯剤、頭痛、不眠症
用法用量	お茶。頭痛、不眠症 (外用)

L-07. Lixeira (学 *Curatella americana*, ビワモドキ科, Dilleniaceae)

別名	Cajueiro-bravo, Cambarba, Caimbé, Marajoara, Sambaíba
生態性状	多年生の樹高 3-4m のカン木。中部ブラジルに分布。種子繁殖。
利用部位	葉、樹皮
化学成分	タンニン、樹脂
薬効	収れん剤
用法用量	外用

L-08. Lobeira (学 *Solanum lycocarpum*, ナス科, Solanaceae)

別名	局方収載。Fruto-de-lobo, Jurubebão, Baba-de-boi, Loba
生態性状	北部⇨東南部に分布するカン木。砂質の酸性土壌を好む。種子繁殖。
利用部位	葉、花、根
化学成分	精油
薬効	利尿、鎮静、
用法用量	花茶



L-09. *Lobelia* (学 *Lobelia inflata*, キキョウ科, Campanulaceae)

別名	局方収載。Tabaco-indiano
生態性状	カナダ米国原産の1年生草本。塩酸ロベリン製造原料。
利用部位	根、花、葉(輸入)
化学成分	アルカロイド、タンニン、精油
薬効	セキ止め。呼吸器疾患。
用法用量	1%のお茶 日量 50ml

L-10. *Lombrigueira* (学 *Spigentia anthelmia*, フジウツギ科, Loganiaceae)

別名	Lombriga= カイチュウ。Arapabaca,
生態性状	Amazônia⇒São Paulo に分布。
利用部位	全草、特に根
化学成分	精油、アルカロイド
薬効	駆虫剤
用法用量	1%のお茶(過量に注意)

L-11. *Losna* (学 *Artemisia absinthium*, キク科, Compositae)

別名	Absinto, Erva-dos-vermes,
生態性状	欧州原産。草丈 0.8m 程度。海岸に近い原野に多い。
利用部位	花、葉
化学成分	精油
薬効	食欲増進、消化、駆虫、解熱
用法用量	花、葉ともに2%のお茶

L-12. *Lúpulo* (学 *Humulus lupulus*, クワ科, Moraceae)

別名	め花 =Hops。
生態性状	欧州原産のツル性植物。ビールの苦味料原料。
利用部位	め花(輸入)
化学成分	精油、タンニン、粘質物
薬効	鎮痛、食欲増進、消化不良
用法用量	2%のお茶 日量 200ml (エキス 4ml)

M-01. *Macela-do-campo* (学 *Achyrocline satureoides*, キク科, Compositae)

別名 Macela, Macelinha, Macela-do-sertao  
生態性状 ブラジル原産。Minas ⇨ 南 Rio Grande 州に分布。種子繁殖。  
利用部位 全草、花  
化学成分 精油、フラボノイド  
薬効 発汗、消化器病、痛風、  
用法用量 お茶

M-02. *Mama-cadela* (学 *Brosimum gaudichaudii*, クワ科, Moraceae)

別名 Amoeira-do-mato, Conduru, Conduri, Inhare, Mururerana  
生態性状 中西部のセラードから S. Paulo州にかけて自生。種子繁殖。  
利用部位 根、葉  
化学成分 精油、樹脂  
薬効 化膿等の慢性疾患、シロナマズ(Vitiligo)  
用法用量 外用(せんじ汁)

M-03. *Madressilva* (学 *Lonicera caprifolium*, スイカズラ科, Caprifoliaceae)

別名 *L. japonica*=スイカズラ  
生態性状 欧州原産のツル性植物。サンパウロ州以南の高冷地に多い。  
利用部位 花、葉  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 タン切り、収れん剤、下痢  
用法用量 お茶

M-04. *Malva-medical* (学 *Malva silvestris*, アオイ科, Malvaceae)

別名 Malvisco, Malva-de-cheiro, Malva-de-botica  
生態性状 ブラジルを含め世界中に分布する多年生草本。土質を選ばない。  
利用部位 花、葉、根  
化学成分 粘質物、樹脂、タンニン  
薬効 利尿、タン切り、気管支炎、口内炎  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml (エキス 4ml)

M-05. Mandioquinha-de-campo(学 *Didymopanax macrocarpum*, ウコギ科, Araliaceae)

別名	Verga-d'anta
生態性状	Bahia ⇨ S. Paulo 州および中西部のセラード地帯原産。種子繁殖。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	リウマチ、皮膚炎
用法用量	お茶

M-06. Marupá (学 *Simarubà officinalis*, ニガキ科, Simarubaceae)

別名	Simaruba, Marubá
生態性状	Para州に自生する 20m以上の高木。太い地上根が特徴。
利用部位	葉、樹皮、根
化学成分	タンニン、精油
薬効	血便
用法用量	0.5%のお茶

M-07. Mastroço (学 *Coronopus didymus*, アブラナ科, Cruciferae)

別名	Erva-de-santa-maria, Erva-formigueira, Erva-vomiqueira
生態性状	家庭内の害虫忌避剤。ブラジル中よく繁殖する。
利用部位	葉、花、種子
化学成分	精油
薬効	消化促進、駆虫剤、呼吸器病、筋肉痛
用法用量	新葉をサラダにまぜる。1%のお茶 日量 300ml

M-08. Matico (学 *Piper angustifolium*, コショウ科, Piperaceae)

別名	Erva-de-soldado, Pimenta-matico
生態性状	南米原産。
利用部位	葉
化学成分	精油、タンニン
薬効	止血剤
用法用量	2%のお茶。 日量 500ml(エキス 5ml)

M-09. Meimendo (学 *Hyoscyamus niger*, ナス科, Solanaceae)

別名 Hioscíamo, velenho  
生態性状 欧州原産。  
利用部位 全草、葉 (輸入)  
化学成分 アルカロイド (有毒)  
薬効 鎮痛剤、セキ、腸、腎臓の痛み、  
用法用量 1%のお茶 日量 100ml (エキス10滴)

M-10. Mentrasto (学 *Ageratum conyzoides*, キク科, Compositae)

別名 Erva-de-são-joão, Catinga-de-bode  
生態性状 ブラジル南部に自生。  
利用部位 全草  
化学成分 精油  
薬効 鎮痛、下痢、リウマチ、ガス  
用法用量 お茶

M-11. Mentruz (学 *Lepidium sativum*, アブラナ科, Cruciferae)

別名 Mastruço, Mastruz, Mentruz  
生態性状 東北ブラジルに多い 1年生草本。  
利用部位 全草  
化学成分 配糖体、精油  
薬効 利尿、食欲増進、壊血病  
用法用量 お茶

M-12. Mil-folhas (学 *Achillea millefolium*, キク科, Compositae)

別名 Milefólio, Mil-em-rama, Erva-de-carpinteiro  
生態性状 生長迅速。畑にはいると雑草化。  
利用部位 葉、花序、全草 (輸入)  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 外傷の回復、消化器潰瘍、痔、リウマチ  
用法用量 0.5%のお茶。痔の手当には 10 分間煎じる。

M-13. Mirra (学 *Commiphora myrrha*, カンラン科, Burseraceae)

別名	Myrrha (英)
生態性状	東北アフリカ原産だが、ブラジルに順化。
利用部位	樹脂 (赤黄色、輸入)
化学成分	樹脂、精油
薬効	殺菌剤、
用法用量	外用

M-14. Mulungu (学 *Erythrina corallodendron*, マメ科, Leguminosae)

別名	Flor-de-coral
生態性状	Amazônia⇒Mato Grosso 州に自生する樹木。
利用部位	樹皮
化学成分	アルカロイド
薬効	鎮痛、トランキライザー、不眠症
用法用量	お茶

M-15. Mururé (学 *Brosimopsis acutifolia/obovata*, クワ科, Moraceae)

別名	
生態性状	アマゾン熱帯雨林原産の 2種の樹木。
利用部位	樹皮
化学成分	樹脂、タンニン
薬効	健胃剤
用法用量	お茶

M-16. Murta (学 *Myrtus communis*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名	Mirto
生態性状	原産は地中海沿岸。
利用部位	茎葉、花
化学成分	精油
薬効	強壮剤、タン切り
用法用量	お茶

N-01. Napoleão (学 *Hedychium coronarium*, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名 Lírio-do-brejo, Borboleta, Narciso, Jasmim-borboleta  
生態性状 草丈 1-2m の多年生草本。地下茎で繁殖。海岸、低地に多い。  
利用部位 地下茎  
化学成分 精油  
薬効 興奮強壮剤、リウマチ、せきどめ  
用法用量 お茶

N-02. Noz-vomica (学 *Strychnus nux-vomica*, フジウツギ科, Loganiaceae)

別名 Fava-de-santo-inácio  
生態性状 15世紀から欧州で栽培。"vomica"と命名されているが催吐作用はない。  
利用部位 種子  
化学成分 アルカロイド  
薬効 胃痛、神経衰弱  
用法用量 お茶

O-01. Óleo-vermelho (学 *Myroxylon balsamum*, マメ科, Leguminosae)

別名 Bálsamo (Pau-d'oleo, 学 *Copaifera langsdorffii* も同名)  
生態性状 メキシコからブラジルに分布する。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン、樹脂  
薬効 外傷の癒着促進  
用法用量 外用

O-02. Orindiuva (学 *Trema micrantha*, ニレ科, Ulmaceae)

別名 Crindiuva, Grandiuva, Coatiudiba  
生態性状 ほぼ全国に分布。樹高 2-4m のカン木。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 収れん剤、リウマチ  
用法用量 外用

P-01. Pacová (学 *Renealmia exaltata*, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名 Pacová-catinga  
生態性状 森林中に自生。草丈 50-70cm。赤い花序。Minas⇒S. Paulo 州に分布。  
利用部位 根、種子  
化学成分 精油、樹脂  
薬効 胃腸病、腸内ガス  
用法用量 お茶

P-02. Panacea (学 *Panax quinquefolium*, ウコギ科, Araliaceae)

別名 Cinco-folhas, Tarumã Erva-carneira, アメリカニンジン  
生態性状 ブラジル原産。肥沃な半日陰を好む。チョウセンニンジンと同属。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 皮膚病、リウマチ、利尿  
用法用量 お茶

P-03. Paratudo (学 *Gomphrena officinalis*, ヒユ科, Amaranthaceae)

別名 Perpétua, Raiz-de-padre-sabino  
生態性状 Minas ⇒S. Paulo 州の原野に多い。地下茎、種子で繁殖。  
利用部位 根、花  
化学成分 精油  
薬効 解熱、消化促進、生理  
用法用量 お茶

P-04. Parietária (学 *Parietaria officinalis*, イラクサ科, Urticaceae)

別名 Erva-de-santana, Alfavaca-de-cobra  
生態性状 ポルトガル原産。  
利用部位 全草  
化学成分 精油、粘質物  
薬効 利尿、結石除去  
用法用量 5%のお茶 日量 200ml (エキス 10ml)

P-05. Pariparoba (学 *Pothomorphe umbellata*, コショウ科, Piperaceae)

別名	Caepaba, Caena, Aguaxima, Caapeba
生態性状	ブラジル原産。北、東北、南東部に分布。半日陰の低湿地を好む。
利用部位	樹皮、葉、根、種子(外用)
化学成分	精油、タンニン
薬効	肝炎、呼吸器病
用法用量	3%のお茶

P-06. Pata-de-vaca (学 *Bauhinia forficata*, マメ科, Leguminosae)

別名	Unha-de-vaca/boi/anta, Mororó, Bauinha
生態性状	アジア原産なるも、ブラジル南部、東南部に分布。樹高 4-8m。
利用部位	樹皮、葉、根
化学成分	精油、タンニン
薬効	ひ尿器、腎臓関係の疾患
用法用量	お茶

P-07. Pau-d'alho (学 *Gallezia gorazema*, ヤマゴボウ科, Phytolacaceae)

別名	Guararema
生態性状	ブラジル南部原産。茎葉にニンニクの臭いあり。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	痔疾、駆虫、降圧剤、コレステロール除去
用法用量	お茶又は外用

P-08. Pau-ferro (学 *Caesalpinia ferrea*, マメ科, Leguminosae)

別名	Jucá, Yucá
生態性状	ブラジル原産の樹木。Piauí ⇨ S. Paulo 州に分布
利用部位	樹皮
化学成分	タンニン
薬効	糖尿病
用法用量	5%のお茶 日量 200ml



P-09. Pedra-ume-caá (学 *Myrcia* spp, フトモモ科, Myrtaceae)

別名	Insulina-vegetal
生態性状	ブラジル原産。Pará州と東北地方の乾燥地帯に分布している。
利用部位	葉
化学成分	タンニン、糖たん白
薬効	糖尿病
用法用量	2%のお茶 日量 500ml

P-10. Pfaffia (学 *Pfaffia iresinoides*, ヒユ科, Amaranthaceae)

別名	
生態性状	ブラジル原産。草丈 1.0-1.5m で河川沿岸に自生。
利用部位	根 (イモ)
化学成分	ステロール、サポニン
薬効	強壯剤、老人性ふるえ、抗潰瘍剤
用法用量	食後、茶さじ 2杯ずつ (乾根)

P-11. Picão (学 *Bidens pilosus*, キク科, Compositae)

別名	Picão-preta, Erva-picão, Pico-pico, Coambi, Fura-capá
生態性状	北、中西部を除く全土に分布。1年生で草丈 0.4-1.2m。
利用部位	全草
化学成分	タンニン、フラボノイド、粘質物
薬効	利尿、肝機能強化
用法用量	お茶

P-12. Picão-da-praia (学 *Melampodium divaricatum*, キク科, Compositae)

別名	Flor-amarela, Estrelinha
生態性状	Rio ⇨ S. Paulo 州に分布。
利用部位	茎葉
化学成分	精油
薬効	利尿、解熱
用法用量	4%のお茶

P-13. Pipi (学 *Petiveria tetandra*, ヤマゴボウ科, *Phytolaccaceae*)

別 名 Erva-pipi, Raiz-de-guiné, Tipi  
生態性状 1-5mのツル性植物。  
利用部位 根 (有毒)  
化学成分 精油、タンニン  
薬 効 鎮静  
用法用量 お茶

P-14. Pita (学 *Agave americana*, ヒガンバナ科, *Amaryllidaceae*)

別 名 Aloes-americano, Gravataí-açu, Agave  
生態性状 北中米原産だが、ブラジル各地に分布。1mに及ぶ巨大な葉が特徴。  
利用部位 葉  
化学成分 サポニン、ステロール  
薬 効 利尿、健胃剤、貧血、黄疸、肝炎  
用法用量 日量 エキス 5ml

P-15. Pitanga (学 *Eugenia uniflora*, フトモモ科, *Myrtaceae*)

別 名 Pitangueira-vermelha, Pitanga-roxa, Pitanga-do-mato  
生態性状 樹高 6-12m Minas⇒南 Rio Grande 州に分布。  
利用部位 果実 (果汁) 葉  
化学成分 精油  
薬 効 鎮静剤、解熱  
用法用量 お茶 (葉)

P-16. Polígala (学 *Polygala senega*, ヒメハギ科, *Polygalaceae*)

別 名 Senega  
生態性状 アメリカ、カナダ原産。ブラジル南部で栽培。  
利用部位 全草  
化学成分 サポニン、精油  
薬 効 去たん、抗炎症、喘息  
用法用量 お茶

Q-01. Quássia (学 Quassia amara, ニガキ科, Simaroubaceae)

別名 Pau-amargo  
生態性状 ブラジル各地に見られる。  
利用部位 樹皮、根  
化学成分 タンニン、精油  
薬効 唾液、胃液、胆汁の分泌促進、昆虫忌避剤  
用法用量 お茶

Q-02. Quebra-pedra (学 Phyllanthus niruri, トウダイグサ科, Euphorbiaceae)

別名 Arrebenta-pedra, Erva-pombinha, Saxifraga  
生態性状 Pará⇒S. Paulo 州に分布。  
利用部位 全草  
化学成分 精油、配糖体、フラボノイド  
薬効 利尿、腎臓結石溶解、膀胱炎、前立腺肥大  
用法用量 新鮮な草 2本を水 1.5 lとともに 15 分間せんじて自由に飲む。

Q-03. Queimadeira (学 Calotropis procera, ガガイモ科, Asclepiadaceae)

別名 Algodão-de-seda, Flor-de-seda, Leiteiro, Paininha-de-seda  
生態性状 熱帯アフリカ原産。高さ 2-4m のカン木。アマゾンと南部を除く全国。  
利用部位 樹皮、葉、根、乳汁 (ラテックス)  
化学成分 タンニン、精油  
薬効 強壮、鎮静、リューマチ、せき、喘息、脱毛 (乳汁)  
用法用量 お茶、外用

Q-04. Quilaja (学 Quilaja saponaria, バラ科, Rosaceae)

別名 泡立ちがよいので、石鹼代用。  
生態性状 Chile, Peru 原産。  
利用部位 樹皮 (輸入)  
化学成分 タンニン、サポニン (有毒成分)  
薬効 唾液分泌促進、たん切り、  
用法用量 1%のお茶 日量 200ml (エキス 2ml)

Q-05. Quina (学 *Cinchona calisaya/succirubra*, アカネ科, Rubiaceae)

別名 薬局方収載。Quina-amarela/vermelha  
生態性状 南米原産。  
利用部位 樹皮(輸入)  
化学成分 アルカロイド、樹脂  
薬効 マラリア、消化剤、解熱。養毛剤として研究中。  
用法用量 2%のお茶、 日量 200ml (エキス 4ml)

Q-06. Quina-mineira (学 *Remijia ferruginea*, アカネ科, Rubiaceae)

別名 Quina-do-campo/mato/pará  
生態性状 Goiás ⇨ Minas 州の原野に見られる。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン、樹脂  
薬効 貧血、食欲増進、解熱  
用法用量 3%のお茶 日量 100ml

Q-07. Quitoco (学 *Pluchea quitoc*, キク科, Compositae)

別名 Madrecravo, Erva-ruderal  
生態性状 ブラジル原産のカン木。芳香を放つ。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 たん切り、消化促進  
用法用量 1%のお茶、 日量 200ml (エキス 2ml)

Q-08. Quixaba (学 *Bumelia sartorum*, アカテツ科, Sapotaceae)

別名 Quixabeira (樹木)  
生態性状 東北ブラジルのCatinga(かんばつ地帯)に多く見られる。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン、精油  
薬効 収れん剤  
用法用量 お茶

R-01. *Ratânia* (学 *Krameria* spp, マメ科, Leguminosae)

別名 Ratanha  
生態性状 ブラジル、ペルー原産のカン木。  
利用部位 根 (輸入)  
化学成分 精油、タンニン。樹脂  
薬効 収れん剤、下痢、痔疾  
用法用量 5%のお茶、日量 200ml、外用

R-02. *Rauwolfia* (学 *Rauwolfia serpentina*, キョウチクトウ科, Apocynaceae)

別名 *Rauwolfia*  
生態性状 150 種のうち、ブラジルには7-8 種が知られている。  
利用部位 根  
化学成分 アルカロイド  
薬効 高血圧、鎮痛剤  
用法用量 1%のお茶 日量 100ml

R-03. *Rosa-rubra* (学 *Rosa gallica*,バラ科, Rosaceae)

別名 *Rosa-branca*(学 *Rosa centifolia*, *R. canina*)あり。*rubra*=真赤。  
生態性状 欧州原産。トゲのあるカン木。  
利用部位 花ビラ (輸入)  
化学成分 精油  
薬効 殺菌剤、下痢  
用法用量 お茶

R-04. *Rosela* (学 *Hibiscus sabdariffa*, アオイ科, Malvaceae)

別名 ローゼル, *Vinagreira*  
生態性状 アフリカ原産だがブラジルでも栽培。  
利用部位 花がく、葉  
化学成分 精油  
薬効 消炎剤、健胃剤、出血防止  
用法用量 お茶

S-01. Sabugueiro (学 *Sambucus nigra*, スイカズラ科, Caprifoliaceae)

別名 西洋ニワトコ  
生態性状 ブラジル南部には、*S. australis*が知られている。  
利用部位 花(輸入)、葉、樹皮、果実  
化学成分 精油、  
薬効 発汗、利尿、解熱、リウマチ、消炎剤  
用法用量 お茶

S-02. Salsaparrilha (学 *Smilax* spp, ユリ科, Liliaceae)

別名 Sarsaparrilha, Sarza, Salsa-americana, Japecanga-mineira  
生態性状 メキシコ、ペルー、アマゾン熱帯原生林のツル性植物。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬効 消化と代謝促進、利尿、発汗  
用法用量 お茶

S-03. Salva (学 *Salvia officinalis*, シソ科, Labiatae)

別名 *Salvia* (英)  
生態性状 欧州原産の多年生草本。葉は香味料(英 Sage)。  
利用部位 葉(輸入)  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 消炎、殺菌、取れん  
用法用量 お茶、うがい、外用

S-04. Samambaia (学 *Pteridium aquilinum*, ウラボシ科, Polypodiaceae)

別名 Samambaia verdadeira/comun/açu, Feto, Feto-água  
生態性状 乾燥した酸性のやせ地土壌で自生。家畜に対し有毒植物。  
利用部位 葉、地下茎  
化学成分 精油  
薬効 リウマチ、消炎、利尿、せき、肝炎  
用法用量 お茶

S-05. Sene (学 *Cassia acutifolia/angustifolia*, マメ科, Leguminosae)

別名	全世界に 500種あるが、うち2種、AlexandriaとIndia が知られる。
生態性状	エジプト原産。ブラジル南東部によく順化している。
利用部位	小葉 (輸入)
化学成分	精油、配糖体、タンニン
薬効	下剤
用法用量	お茶

S-06. Serralha (学 *Sonchus oleraceus*, キク科, Compositae)

別名	アザミの一種
生態性状	草丈 50cm。生育旺盛。
利用部位	葉
化学成分	ステロール、精油、樹脂
薬効	肝機能増進、下剤、利尿、消化
用法用量	お茶

S-07. Serralhinha (学 *Emilia sonchifolia*, キク科, Compositae)

別名	Bela-emília, Pincel
生態性状	北半球熱帯原産。1年生で草丈 20-60cm。種子繁殖。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	解熱、喘息、眼科疾患 (外用)
用法用量	お茶

S-08. Sete-sangrias (学 *Cuphea carthagenensis*, ミソハギ科, Lythraceae)

別名	Guanxuma-vermelha
生態性状	1年生、草丈 0.2-0.6m。湿地に多い。種子繁殖。
利用部位	全草
化学成分	配糖体、精油
薬効	解熱、鎮痛、強壯、発汗
用法用量	お茶

T-01. Taboa (学 *Typha angustifolia*, ガマ科, Typhaceae)

別名 Paineira-de-brejo/flecha, Espadana, Tabu, Tabua  
生態性状 低湿地に広く生育。  
利用部位 球根  
化学成分 精油  
薬効 収れん、利尿、消炎  
用法用量 お茶

T-02. Taiuiá (学 *Cayaponia layuya*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名 Abobrinha-do-mato, Taioiá, Taiuí  
生態性状 ツル性植物。Trianosperma 属も同効果。  
利用部位 根  
化学成分 樹脂、精油  
薬効 利尿、リウマチ  
用法用量 1%のお茶 日量 200ml (エキス 2ml)

T-03. Tâmará (学 *Phoenix dactylifera*, ヤシ科, Palmaceae)

別名 Datil(樹, Datileira, Tamareira)  
生態性状 北アフリカ原産。ブラジルでも栽培。  
利用部位 果実(種実)  
化学成分 ビタミン、ミネラル  
薬効 せき  
用法用量 果汁だから自由飲用

T-04. Tanchagem (学 *Plantago major*, オオバコ科, Plantaginaceae)

別名 Tansagem, Platagem, Tranchagem  
生態性状 欧州原産。ブラジル各地に繁殖。新葉は野菜として利用。  
利用部位 葉、種子  
化学成分 タンニン、フラボノイド  
薬効 たん切り、収れん、傷口の修復、下剤(種子)  
用法用量 お茶



T-05. Tarumã (学 *Vitex taruma*, クマツヅラ科, Verbenaceae)

別名 Azeitona-brava/da-terra/do-mato, Cinco-folhas, Tarumã-romã  
生態性状 ブラジル原産の樹木。Bahia ⇨ S. Paulo 州に分布。種子で繁殖。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 利尿、消化、リウマチ  
用法用量 お茶

T-06. Teixo (学 *Taxus baccata* ほか, イチイ科, Taxaceae)

別名 イチイ (一位) *T. pacifica* 等あり。  
生態性状 最近、移植がはかられている。  
利用部位 樹皮、葉、若い枝  
化学成分 アルカロイド、フラボノイド、配糖体  
薬効 利尿、抗がん剤 (内臓)  
用法用量 お茶。抗がん剤の場合は点滴

T-07. Tília (学 *Tilia cordata*, シナノキ科, Tiliaceae)

別名 独、Linden。  
生態性状 欧州原産の樹木。開花期間、芳香を放つ。  
利用部位 花 (輸入)  
化学成分 精油、フラボノイド、タンニン  
薬効 鎮静、かぜ、発汗、催眠、利尿  
用法用量 3%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

T-08. Tipi (学 *Petiveria alliacea*, ヤマゴボウ科, Fitolaceae)

別名 Guiné-pipi, Amansa-senhor, Caá, Erva-de-guiné  
生態性状 ブラジル全土  
利用部位 根、葉  
化学成分 フラボノイド、精油、タンニン  
薬効 ビールス、カビ、細菌の制御剤、鎮痛、消炎  
用法用量 お茶

T-09. Tomba (学 *Perianthopodus/Cayaponia spelina*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名 Espelina, Pirina, Fel-do-gentio, Carijo Disciplina  
生態性状 ブラジル原産。東南、中西部と Ceara州に分布。繁殖は種子と株分。  
利用部位 根、莖葉  
化学成分 精油  
薬効 強壮、消化、利尿、呼吸器疾患  
用法用量 お茶 (根の方が作用が強い)

T-10. Trapoeraba (学 *Commelina nudiflora*, ツユクサ科, Commelinaceae)

別名 Capim-gomoso, Grama-da-terra, Maria-mole, Andaca  
生態性状 ブラジル原産。Piaui 州以南全土に分布。繁殖は種子と株分。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 利尿、痔疾、呼吸器疾患、肝炎  
用法用量 お茶、外用

T-11. Trombeteira (学 *Datura fastuosa*, ナス科, Solanaceae)

別名 *D. arborea* と、*D. suaveolens* あり。ペルー原産。  
生態性状 Orelha-de-macaco (*D. stramonium*) と同属。Buscopan 製造原料。  
利用部位 葉 (有毒植物)  
化学成分 アルカロイド  
薬効 鎮痛、喘息治療  
用法用量 3%のお茶 日量 50ml。家庭で利用しないほうがよい。

T-12. Tuia (学 *Thuja occidentalis*, ヒノキ科, Cupressaceae)

別名 *Árvore-da-vida*, ニオイヒバ  
生態性状 アメリカ原産。  
利用部位 葉、若い枝  
化学成分 精油、フラボノール  
薬効 利尿、生理  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml (エキス 4ml)

U-01. *Urinária* (学 *Zornia diphyll*, マメ科, Leguminosae)

別名 Carrapicho, Ubiruana, Urinana, Alfafa-do-campo, *Zornia*  
生態性状 多年生のツル性植物。ほぼブラジル全土に分布。  
利用部位 茎葉  
化学成分 精油  
薬効 利尿、下剤、リウマチ  
用法用量 お茶、外用

U-02. *Urtiga* (学 *Urtica dioica*, イラクサ科, Urticaceae)

別名 Urtigão  
生態性状 欧州原産。赤茎の草丈 1m の草本。葉に刺毛がある。  
利用部位 葉、根  
化学成分 精油、配糖体  
薬効 糖尿病、リウマチ、結石、利尿、消化、痛風  
用法用量 2%のお茶 日量 100ml (エキス 5ml)

U-03. *Urucum* (学 *Bixa orellana*, ベニノキ科, Bixaceae)

別名 Urucu, Orucu  
生態性状 ブラジル原産。サク果中に多数の種子があり、食品用の赤黄色素。  
利用部位 種子、根  
化学成分 色素(Bixina)、フラボノイド  
薬効 心臓病、降圧剤  
用法用量 1%のお茶 日量 100ml。

U-04. *Uva-ursina* (学 *Arctostaphylos uva-ursi*, ツツジ科, Ericaceae)

別名 Buxulo, Uva-de-urso  
生態性状 北半球の標高 600m 以上の高地が原産地。  
利用部位 葉 (輸入)  
化学成分 タンニン、配糖体、フラボノイド  
薬効 利尿  
用法用量 3%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

V-01. Valeriana (学 Valeriana officinalis, オミナエシ科, Valerianaceae)

別名	西洋カノコソウ
生態性状	北半球の温帯原産の多年生草本。
利用部位	根(輸入)
化学成分	精油、アルカロイド、フラボノイド
薬効	鎮静、神経衰弱、不眠
用法用量	2%のお茶、日量 200ml (長期連用は習慣性になることあり)

V-02. Vassoura (学 Sida rhombifolia, アオイ科, Malvaceae)

別名	Guaxima, Mata-pasto, Vassoura-relógio, Tupitixa
生態性状	草丈 0.3-0.8m の多年生草本。東北⇨南部に分布。半日陰湿地を好む。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	解熱、消炎、強壯、下痢止め、肺炎、心臓関係
用法用量	お茶

V-03. Velame-do-campo (学 Croton campestris, トウダイグサ科, Euphorbiaceae)

別名	Velame-verdadeiro
生態性状	中、東北部ブラジルに多い高さ1-2mの半カン木。
利用部位	根
化学成分	アルカロイド、樹脂
薬効	下剤、リウマチ、皮膚病
用法用量	2%のお茶 日量 200ml、外用は5%のせんじ汁。

V-04. Verbasco(学 Buddleya brasiliensis フジウツギ科, Loganiaceae)

別名	Barbasco, Vassoura, Barrasco, Cezarinha, Carro-santo
生態性状	草丈0.8-1.4m。Ceará ⇨S. Catarina州に分布。
利用部位	花、葉
化学成分	精油、配糖体、サポニン
薬効	心臓疾患、せき、痔、発汗、リウマチ
用法用量	お茶、外用

V-05. *Verbena* (学 *Verbena officinalis*, クマツツラ科, Verbenaceae)

別名 南、東南部地方には、*V. bonariensis*, *litoralis* が分布している。  
生態性状 北半球の温帯原産。  
利用部位 全草 (輸入)  
化学成分 精油  
薬効 鎮静、不眠、頭痛、消化、たん切り、痔、皮膚  
用法用量 お茶、外用

V-06. *Viburno* (学 *Viburnum prunifolium*, スイカズラ科, Caprifoliaceae)

別名 *V. sargentii* (日本各地に自生)  
生態性状 アメリカの乾燥土地帯の原産。5-6mの樹木。  
利用部位 根皮 (輸入)  
化学成分 配糖体、タンニン、アルカロイド  
薬効 利尿、鎮静、生理  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml (エキス 10ml)

V-07. *Vinca* (学 *Lochnera roseus*, キョウチクトウ科, Apocynaceae)

別名 *Maria-sem-vergonha* (どこでも生えるから), *Boas-noites*  
生態性状 中米原産。熱帯地方では半カン木状になる。  
利用部位 葉 (有毒植物)  
化学成分 アルカロイド、精油  
薬効 白血病  
用法用量 危険。

V-08. *Voadeira* (学 *Erigeron bonariensis*, キク科, Compositae)

別名 *Erva-lanceta*, *Acatoia*, *Caticoba*, *Rabo-de-raposa/foguete*  
生態性状 熱帯アメリカ原産。1年生。草丈 0.6-1.2m。  
利用部位 全草  
化学成分 精油  
薬効 痔疾、下痢、利尿、駆虫  
用法用量 お茶、外用

Z-01. Zedoária (学 *Curcuma zedoaria*, ショウガ科, *Zingiberaceae*)

別名	ブラジル薬局方第1版に記載。現行版にはない。ガジュツ
生態性状	インド東部原産。沖縄九州で栽培。ブラジルはS. Paulo とParana州。
利用部位	根 (8カ月以上のものを利用。輸入)
化学成分	精油、樹脂、色素
薬効	肝、腎炎、胃潰瘍、肺炎、皮膚のカビ病
用法用量	お茶

Z-02. Zimbro (学 *Juniperus communis*, ヒノキ科, *Cupressaceae*)

別名	Junipero, Savina
生態性状	中南欧に自生する高木。ブラジルにも順化している。
利用部位	種実
化学成分	タンニン、樹脂、精油
薬効	利尿、リウマチ、鎮痛
用法用量	2%のお茶 日量 200ml (エキス 5ml)

第4章 索引

4-1. 地方名⇒植物番号検索

A.			
Abobrinha-do-mato	T-02	Aluman	B-12
Abrunheiro	A-01	Amansa-senhor	T-08
Absinto	L-11	Amaranto	A-15
Abutua	A-02	Amarra-pinto	E-15
Acariçoba	E-06	Ameixeira-brava	A-01
Acatóia	V-08	Amêndoa	A-16
Acônito	A-03	Amoeira-do-mato	M-02
Adônis	A-04	Ananás-selvagem	G-06
Agave	P-14	Andá-açu	C-50
Agoniada	A-05	Andaço	T-10
Agrimônia	A-07	Angélica	A-17
Aguaraibá	A-23	Angico	A-18
Aguaxima	P-05	Angico-branco	A-18
Aipo-do-rio-grande	A-06	Angustura	A-20
Albina	D-01	Anil	I-04
Alcachofra	A-08	Anileira	I-04
Alcaçuz-da-terra	A-09	Anis	A-19
Alcaravia	A-10	Anis-de-china	B-02
Alecrim	A-11	Anis-estrelada	B-02
Alecrim-de-cheiro	A-11	Anis-verde	E-11
Alecrim-de-vassoura	A-12	Aperta-rúão	A-21
Alecrim-do-campo	A-12	Apiastro	E-07
Alecrim-do-campo	F-01	Arapabaca	L-10
Alfafa-do-campo	U-01	Arnica	A-22
Alfavaca-de-cobra	P-04	Arnica-verdadeira	A-22
Alfazema	A-13	Aroeira	A-23
Algodão-de-seda	Q-03	Aroeira-do-brejo	A-23
Almécega	E-01	Aroeira-do-sertão	A-23
Aloé	B-01	Aroeira-mansa	A-23
Aloés-americano	P-14	Aroeira-vermelha	A-23
Altéia	A-14	Arrebenta-pedra	Q-02

Arruda	A-25	Bauinha	P-06
Artemisia	A-24	Bela-emília	S-07
Artemigem	A-24	Beladona	B-09
Árvore-da-vida	T-12	Beldroega	B-10
Árvore-de-preguica	E-02	Benjoim	B-11
Árvore-do-pinguço	B-12	Boas-noites	V-07
Assa-peixe	A-26	Boldo	B-12
Avenca	A-27	Boldo-brasileiro	B-12
Aveleira-de-bruxa	H-01	Boldo-do-chile	B-13
Azedinha	A-28	Bolsa-de-pastor	B-14
Azeitona-brava	T-05	Borboleta	N-01
Azeitona-da-terra	T-05	Borragem	B-15
Azeitona-do-mato	T-05	Bredo	A-15
B.		Bredo-branco	C-24
Baba-de-boi	L-08	Bredo-de-espinho	C-24
Babosa	B-01	Bredo-de-santo-antônio	C-24
Badiana	B-02	Briônio	B-16
Baibeia	E-02	Buchinha-de-norte	C-02
Barbatimão	B-06	Bucho-de-rã	C-11
Bálsamo	O-01	Bugre-branco	G-08
Bálsamo-americano	B-05	Butua	A-02
Bálsamo-de-copachu	B-03	Buxulo	U-04
Bálsamo-de-copaíba	B-03	C.	
Bálsamo-de-copari	B-03	Caá	T-08
Bálsamo-de-são-salvador	B-04	Caá-pororoca	C-26
Bálsamo-de-sonsonata	B-04	Caapeba	C-01
Bálsamo-de-tolu	B-05	Caapeba	P-05
Bálsamo-do-peru	B-04	Caapiá	C-08
Bálsamo-índico	B-05	Cabacinha	C-02
Barão-rajado	J-09	Cabeça-de-moleque	C-03
Barbarosa	B-06	Cabeça-de-negro	C-03
Barbasco	V-04	Cabucinha	C-02
Bardana	B-07	Caçau	C-04
Bardana-maior	H-02	Caena	P-05
Barrasco	V-04	Caferana	C-05
Batata-de-purga	B-08	Caferana	C-06
Batata-de-purga	J-02	Cagaita	C-07



Cagaiteira	C-07	Capim-de-cheiro	J-10
Caiapiá	C-08	Capim-de-estreira	T-01
Caimbé	L-07	Capim-gomoso	T-10
Cainca	C-09	Capim-limão	C-17
Cajueiro-bravo	L-07	Capim-santo	C-17
Calendula	C-10	Capitão-de-sala	I-06
Camapu	C-11	Capuchinha	C-18
Camapu	J-09	Caraguatá	B-01
Camará	C-12	Carapiá	C-08
Camará-açu	C-04	Carapiá	C-19
Camará-brava	I-06	Cardo-santo	C-20
Camaru	J-09	Carijó	T-09
Cambará	C-12	Caroba-do-canto	C-21
Cambará-branca	A-26	Carquedinha	C-22
Cambará-de-espinho	C-12	Carqueja	C-22
Cambará-guaçu	A-26	Carqueja-doce	C-22
Cambarba	L-07	Carrapicho	U-01
Camboatá	C-13	Carrapicho-de-carneiro	C-23
Camboita	C-13	Carrapicho-rasteiro	C-23
Cambota	C-13	Carro-santo	V-04
Cambuí	A-18	Caruru	A-15
Cambuí	A-23	Caruru-de-espinho	C-24
Camomila	C-14	Caruru-de-folha-larga	A-15
Cana-de-macaco	C-15	Caruru-gigante	A-15
Cana-do-brejo	C-15	Carvalho	C-25
Cana-do-mato	C-15	Casa-de-anta	C-26
Cana-roxa	C-15	Casca-de-anta-brava	C-27
Cancerosa	E-17	Cáscara-sagrada	C-28
Canela-branca	C-16	Cascariha	C-29
Canela-cheirosa	C-16	Castanha-da-Índia	C-30
Canudo	E-10	Cataia	E-08
Capa-homen	C-44	Catare	C-27
Caparosa	L-02	Catiçoba	V-08
Capeba	P-05	Catinga-de-barão	E-05
Capiçoba	E-08	Catinga-de-bode	M-10
Capim-cheiroso	C-17	Catinga-de-mulata	C-31
Capim-cidreira	C-17	Catinga-de-mulata	C-32

Catuaba	C-33	Cipó-emético	I-05
Cauda-de-leão	C-57	Cipó-mil-homens	C-04
Cavalinha	C-34	Cipó-sucuriã	G-09
Celidônia	C-35	Cipó-suma	C-48
Centáurea-menor	C-36	Cipó-trindade	C-46
Centella-asiática	C-37	Coambi	P-11
Cerefolha	C-38	Coatiudiba	O-02
Cerefolio	C-38	Coco-de-purga	C-50
Cervina	C-39	Coirama-branca	F-05
Cevadilha	C-40	Coité	C-49
Cevadilla	C-40	Cola	C-51
Cezarinho	V-04	Colofônio	C-52
Chá-de-bugre	C-55	Cominho-dos-prados	A-10
Chá-de-frade	E-12	Condurango	C-53
Chá-do-brejo	C-41	Conduri	M-02
Chá-mineiro	C-41	Conduru	M-02
Chagas	C-18	Confrei	C-54
Chagueira	C-18	Congonha-de-bugre	C-55
Chamarrita	A-26	Congonha-do-sertão	C-55
Chanana	D-01	Congonha-falsa	C-55
Chapéu-de-couro	C-41	Copaíba	C-56
Chufa	J-10	Copaíba-da-várzea	C-56
Cicuta-falsa	E-06	Cordão-de-frade	C-31
Cidreira-do-mato	L-04	Cordão-de-frade	C-57
Cinco-folhas	P-02	Cordão-de-são-francisco	C-57
Cinco-folhas	T-05	Cordão-de-são-francisco	E-12
Cinerária	C-42	Cordão-são-francisco	C-31
Cipó-caatinga	G-09	Coridiba	C-57
Cipó-cabeludo	C-43	Coromilho-do-campo	E-17
Cipó-carneiro	C-44	Coronha	C-58
Cipó-chumbo	C-45	Costa-branca	L-06
Cipó-cravo	C-46	Cratego	C-59
Cipó-cruz	C-09	Cravo-bravo	C-60
Cipó-de-jabuti	C-47	Cravo-de-defunto	C-60
Cipó-de-jatobá	C-47	Cravo-de-índia	C-61
Cipó-de-mucuna	C-44	Cravo-de-urubu	C-60
Cipó-dourado	C-45	Crindiúva	O-02

Cubela	C-62	Erva-de-colégio	E-09
Cubeta	C-62	Erva-de-estreira	T-01
Cumari	C-63	Erva-de-guiné	T-08
Cumbari	C-63	Erva-de-lagarto	G-08
Cumbarim	C-63	Erva-de-sangue	L-06
Curcuma	C-64	Erva-de-santa-maria	E-10
Cutieira	C-50	Erva-de-santa-maria	M-07
D.		Erva-de-santana	F-08
Damiana	D-01	Erva-de-santana	P-04
Dedaleira	D-02	Erva-de-são-joão	A-24
Dente-de-leão	D-03	Erva-de-são-joão	M-10
Digital	D-02	Erva-de-soldado	M-08
Disciplina	T-09	Erva-dedal	D-01
Dorme-dorme	D-04	Erva-doce	E-11
Dormideira	D-04	Erva-dos-calos	C-35
Dormideira	D-05	Erva-das-feiticeiros	E-19
Dourada-grande	D-06	Erva-dos-vermes	L-11
Douradão	D-06	Erva-fedorenta	C-60
Douradinha-do-campo	D-06	Erva-formigueira	M-07
Duboísia	D-08	Erva-grossa	E-09
E.		Erva-lancete	V-08
Elemi	E-01	Erva-macaé	E-12
Embaúba	E-02	Erva-mate	E-13
Endro	E-03	Erva-moura	E-14
Ênula	E-04	Erva-pipi	G-12
Ênula-campana	E-04	Erva-pipi	P-13
Erva-babosa	B-01	Erva-pombinha	Q-02
Erva-baleeira	E-05	Erva-ruderal	Q-07
Erva-canudo	C-34	Erva-santa	E-10
Erva-capitão	E-06	Erva-tostão	E-15
Erva-cidreira	E-07	Erva-vomiqueira	E-10
Erva-cidreira-do-campo	F-01	Erva-vomiquera	M-07
Erva-das- verrugas	C-35	Escambroeira	C-39
Erva-de-anta	C-55	Escamónea	E-16
Erva-de-bicho	E-08	Espadana	T-01
Erva-de-carpinteiro	M-12	Espelina	T-09
Erva-de-cobra	G-09	Espinheira-santa	E-17

Espinho-alvar	C-59	Fumo-bravo	E-09
Espinho-branco	C-59	Fumo-da-mata	E-09
Espinho-cervina	C-39	Fumo-da-terra	F-07
Espinho-de-agulha	C-23	Fumo-de-mato	L-07
Espinho-de-carneiro	H-02	Fura-paredes	F-08
Espinho-de-deus	E-17	G.	
Esponja	C-58	Galanga	G-01
Esponjeira	C-58	Galanga-menor	G-01
Estévia	E-18	Gameleira	G-02
Estramônio	E-19	Gardênia	G-03
Estrelinha	P-12	Genciana-brasileira	G-04
Estrondo	C-60	Genciana-do-brasil	G-04
Eucalipto	E-20	Genipapo	J-07
F.		Gervão	G-05
Falso-boldo	B-12	Gervão-azul	G-05
Falso-café	C-05	Gervão-de-verônica	G-05
Falsa-melissa	F-01	Goma-limão	E-01
Fava-de-santo-inácio	C-47	Gram-da-terra	T-10
Fava-de-santo-inácio	N-02	Gravatá	G-06
Fedegoso	F-02	Gravataí-açu	P-14
Fel-da-terra	F-03	Grindélia	G-07
Fel-do-gentio	T-09	Gritadeira	D-06
Feno-grego	F-04	Guaçatonga	G-08
Figueira-branca	G-02	Guaco	G-09
Figueira-brava	G-02	Guaco-liso	G-09
Flecha	T-01	Guaco-trepador	G-09
Flor-amarela	P-12	Guáiacó	G-10
Flor-da-seda	Q-03	Guanxuma	G-11
Flor-de-coral	M-14	Guanxuma-vermelha	S-08
Flor-de-são-joão	A-24	Guapeva	C-47
Folha-de-costa	F-05	Guara-guara	I-07
Folha-da-fortuna	F-05	Guararema	P-07
Folha-de-pagé	F-02	Guaxima	G-11
Fruta-de-arara	C-50	Guaxuma	G-11
Fruto-de-lobo	F-06	Guiné	G-12
Fruto-de-lobo	L-08	Guiné-pipi	T-08
Fumária	F-07	Guru	C-51

H.		Jarrinha	C-04
Hamamélis	H-01	Jasmin-borboleta	N-01
Hati-de-espinho	H-02	Jatobá	J-06
Hera	H-03	Jenipapo	J-07
Hera-terrestre	H-04	Jequitiba	J-08
Hidraste	H-05	Joá	J-09
Hissopo	H-06	Joá-de-capote	C-11
Hortelã-das-raças	H-07	Joá-de-capote	J-09
Hortelã-do-campo	H-08	Juá-de-capote	C-11
I.		Juá-poca	J-09
Imbaúba	E-02	Jucá	P-08
Imburana	I-01	Junquinho	J-10
Imburana-de-cheiro	I-02	Jupeba	J-12
Imburana-vaqueira	I-01	Jurema	J-11
Incenso	I-03	Jurema-branca	J-11
Índigo	I-04	Juripeba	J-12
Indiqueira	I-04	Jurubeba	J-12
Inhare	M-02	Jurubebão	F-06
Insulina-vegetal	P-09	Jurubebão	L-08
Ipê-de-jardim	I-07	L.	
Ipê-roxo	I-08	Laranja-amarga	L-01
Ipeca	I-05	Laranja-azeda	L-01
Ipecacuanha	I-05	Laranja-da-terra	L-01
Ipecacuanha-falsa	I-06	Leiteiro	Q-03
J.		Lençol-de-santa-bárbara	C-01
Jabão	J-04	Lentilha-da-água	L-02
Jaborandi	J-01	Limoeiro-bravo	L-04
Jabuticaba-de-cipó	A-07	Limoeiro-do-mato	L-04
Jacaré-açu	C-06	Língua-de-aracari	L-05
Jacuacanga	C-15	Língua-de-tucano	L-05
Jalapa	B-08	Língua-de-vaca	E-09
Jalapa	J-02	Língua-de-vaca	L-06
Jambo	J-03	Lírio-florentino	L-03
Jambolão	J-04	Lixa-vegetal	C-34
Jamelão	J-04	Lixeira	L-07
Janipapo	J-07	Loba	L-08
Japacanga	J-05	Lobeira	F-06

Lobeira	L-08	Mata-fome	C-11
Lobelia	L-09	Mata-pasto	F-02
Lodagem	E-06	Mata-pasto	V-02
Lombrigueira	L-10	Matico	M-08
Losna	L-11	Matricária	C-14
Lúpulo	L-12	Meimendro	M-09
Luva-de-nossa-senhora	D-01	Melambo	C-27
M.		Melissa	E-07
Macela-do-campo	C-14	Mentrasto	M-10
Macela-do-campo	M-01	Mentruz	M-11
Macela-do-sertão	M-01	Mil-em-rama	M-12
Macelinha	M-01	Mil-folhas	M-12
Madrecravo	Q-07	Milefólio	M-12
Madressilva	M-03	Mimosa	D-04
Malambo	C-26	Mirra	M-13
Malícia	D-04	Mororó	P-06
Malva-do-campo	C-19	Mulungu	M-14
Malva-medicinal	M-04	Múrta	M-16
Malva-roxa	G-11	Mururé	M-15
Malvaisco	A-14	Mururerana	M-02
Malvaisco	C-01	N.	
Malvisco	G-11	Napoleão	N-01
Mama-cadela	M-02	Narciso	N-01
Mamangá	F-02	Norça-branca	B-16
Mandioquinha-de-campo	M-05	Norça-vermelha	B-16
Mané-mole	I-06	Noz-de-cola	C-51
Maria-milagrosa	E-05	Noz-vomica	N-02
Maria-mole	T-10	O.	
Maria-preta	E-05	Oficial-de-sala	I-06
Maria-preta	E-14	Óleo-vermelho	C-56
Maria-sem-vergonha	V-07	Óleo-vermelho	O-01
Marmeque-do-campo	G-07	Ora-pro-nóbis	B-10
Marroio	E-12	Orelha-de-urso	H-07
Marubá	M-06	Orindiúva	O-02
Marupá	M-06	P.	
Mastruço	E-10	Pacová	P-01
Mastruço	M-07	Paineira-de-brejo	T-01

Paineira-de-flecha	T-01	Picão-preta	P-11
Painha-de-seda	Q-03	Pico-pico	P-11
Pajamarioba	F-02	Pimenta-cumari	C-63
Panacéia	P-02	Pimenta-da-água	E-08
Papo-de-galo	C-04	Pimenta-de-fruto-ganchoso	A-21
Papo-de-peru	C-04	Pimenta-de-galinha	E-14
Papoula-branca	D-05	Pimenta-matico	M-08
Pára-sol	E-06	Pimpinela	E-11
Paracari	H-08	Pipi	P-13
Paratudo	C-26	Piriguara	C-48
Paratudo	F-05	Pirina	T-09
Paratudo	P-03	Pita	P-14
Paricá	A-18	Pitanga	P-15
Paricarana	B-06	Pitanga-do-mato	P-15
Parietária	F-08	Pitanga-roxa	P-15
Parietária	P-04	Pitangueira-vermelha	P-15
Pariparoba	C-01	Poejo-da-praia	C-23
Pariparoba	P-05	Polígala	P-16
Parreira-brava	A-02	Poncaga	E-06
Pata-de-vaca	P-06	Puçazeiro	C-27
Pau-amargo	Q-01	Purga-preta	C-09
Pau-benedito	G-10	Q.	
Pau-d' alho	P-07	Quássia	Q-01
Pau-d' arco	I-08	Quássia-do-para	C-06
Pau-de-óleo	C-56	Quebra-pedra	F-08
Pau-de-praga	C-31	Quebra-pedra	Q-02
Pau-ferro	P-08	Queimadeira	Q-03
Pau-santo	G-10	Queridônia	C-35
Pedra-ume-caá	P-09	Quilaia	Q-04
Pega-pinto	E-15	Quina	Q-05
Pêlo-de-sapato	J-10	Quina-amargosa	C-05
Periná	C-15	Quina-amarela	Q-05
Perpétua	P-03	Quina-de-campo	Q-06
Pesca-miúda	L-02	Quina-de-mato	Q-06
Pfaffia	P-10	Quina-de-pará	Q-06
Picão	P-11	Quina-guiana	C-06
Picão-da-praia	P-12	Quina-mineira	Q-06

Quina-vermelha	Q-05	Saxifraga	Q-02
Quitoco	Q-07	Sene	S-05
Quixaba	Q-08	Serralha	S-06
Quixabeira	Q-08	Serralhinha	S-07
R.		Sete-sangrias:	S-08
Rabo-de-cavalo	C-34	Simaruba	M-06
Rabo-de-foguete	V-08	Solano	E-14
Rabo-de-raposa	V-08	Solidônia	E-15
Rabugem-de-cachorro	H-18	T.	
Raiz-amarga	G-04	Tabaco-de-montanha	A-22
Raiz-de-guiné	P-13	Tabaco-indiano	L-09
Raiz-de-padre-sabino	P-03	Taboa	T-01
Raiz-doce	A-09	Taioiá	T-02
Raiz-fedorenta	C-09	Taiuiá	T-02
Raiz-preta	C-09	Taiuiú	T-02
Ratanha	R-01	Tâmara	T-03
Ratânia	R-01	Tanchagem	T-04
Rauvolfia	R-02	Tapa-braço	A-21
Roda-da-fortuna	F-05	Tapira	L-06
Rosa-rubra	R-03	Tarumã	P-02
Rosela	R-04	Tarumã	T-05
Rubim	C-57	Tarumã-romã	T-05
Rubim	E-12	Teixo	T-06
S.		Tejuco	C-03
Sabadilla	C-40	Tília	T-07
Sabugueiro	S-01	Tinge-ovos	C-45
Saião	F-05	Tipi	G-12
Salsa-brava	F-01	Tipi	T-08
Salsaparrilha	S-02	Tipu	G-12
Salsaparrilha-falsa	J-05	Tipuana	G-12
Salvavidas	E-17	Tomba	T-09
Salva	S-03	Torém	E-02
Samambaia	A-27	Trapoeraba	T-10
Samambaia	S-04	Trombeteira	T-11
Sambaíba	L-07	Tuia	T-12
Sangue-de-cristo	F-07	Tupixaba	V-02
Sapatinho-do-diabo	C-18		



U.	
Uabatimô	B-06
Uaicima	G-11
Ubacaiá	C-15
Umbaúba	E-02
Umburana	I-01
Unha-de-anta	P-06
Unha-de-boi	P-06
Unha-de-vaca	P-06
Urucu	U-03
Urinária	U-01
Urtiga	U-02
Urucum	U-03
Uva-de-urso	U-04
Uva-do-mato	A-02
V.	
Valeriana	V-01
Vassitonga	G-08
Vassoura	A-12
Vassoura	V-02
Vassoura-de-bruxa	H-01
Vassoura-relógio	V-02
Vassoureira	A-12
Vassourinha	A-12
Velame-do-campo	V-03
Verbasco	V-04
Verbena	V-05
Viburno	V-06
Vinagreira	R-04
Vinca	V-07
Voadeira	V-08
Z.	
Zedoária	Z-01
Zimbro	Z-02

## 第4章 索引

### 4-2. 属名⇨植物番号检索

A.			
Abuta	A-02	Asplenium	D-07
Acacia	C-58	Atropa	B-09
Acanthospermum	C-23	B.	
Achillea	M-12	Baccharis	A-12
Achyrocline	M-01	Baccharis	C-22
Aconitum	A-03	Bauhinia	P-06
Adiantum	A-27	Bidens	P-11
Adonis	A-04	Bixa	U-03
Aesculus	C-30	Boerhavia	E-15
Agave	P-14	Borrago	B-15
Ageratum	M-10	Brosimopsis	M-15
Agrimonia	A-07	Brosimum	M-02
Aloe	B-01	Bryonia	B-16
Alpinia	G-01	Bryophyllum	F-05
Althaea	A-14	Buddleya	V-04
Amaranthus	A-15	Bumelia	Q-08
Amaranthus	C-24	Bursera	I-01
Amygdalus	A-16	C.	
Ananas	G-06	Caesalpinia	P-08
Anchiela	C-48	Calendura	C-10
Anethum	E-03	Calotropis	Q-03
Angelica	A-17	Capsella	B-14
Anthriscus	C-38	Capsicum	C-63
Apium	A-06	Carinaria	J-08
Arctium	B-07	Carum	A-10
Arctostaphylos	U-04	Casearia	G-08
Aristolochia	C-04	Cassia	F-02
Arnica	A-22	Cassia	S-05
Artemisia	A-24	Cayaponia	T-02
Artemisia	L-11	Cecropia	E-02
Asclepias	I-06	Centella	C-37

Cephaelis	I-05	Dorstenia	C-08
Chaptania	L-06	Drymis	C-26
Chelidonium	C-35	Duboisia	D-08
Chenopodium	E-10	E.	
Chiococca	C-09	Echinodorus	C-41
Cinara	A-08	Ecmites	C-44
Cinchona	Q-05	Elephantopus	E-09
Citrus	L-01	Emilia	S-07
Cnicus	C-20	Equisetum	C-34
Cola	C-51	Erigeron	V-08
Commelina	T-10	Eryngium	L-05
Commiphora	M-13	Erythraea	C-36
Convolvulus	B-08	Erythraea	F-03
Convolvulus	E-16	Erythrina	M-14
Copaiba	B-03	Erythroxylum	C-33
Copaifera	C-56	Eucaliptus	E-20
Cordia	E-05	Eugenia	J-03
Coronopus	M-07	Eugenia	J-04
Costus	C-15	Eugenia	P-15
Crataegus	C-59	F.	
Crescentia	C-49	Fevillea	C-47
Croton	C-29	Ficus	G-02
Croton	V-03	Fumaria	F-07
Cuphea	S-08	G.	
Curatella	L-07	Gallezia	P-07
Curcuma	C-64	Gardenia	G-03
Curcuma	Z-01	Genipa	J-07
Cuscuta	C-45	Glechoma	H-04
Cusparia	A-20	Gomphrena	P-03
Cymbopogon	C-17	Grindelia	G-07
Cyperus	J-10	Guajacum	G-10
D.		H.	
Datura	E-19	Hamamelis	H-01
Datura	T-11	Hedera	H-03
Didymopanax	M-05	Hedychium	N-01
Digitalis	D-02	Hibiscus	R-04
Dipladena	J-02	Humulus	L-12

Hydrastis	H-05	Melampodium	P-12
Hydrocotyle	E-06	Melissa	E-07
Hymenaea	J-06	Mikania	G-09
Hyoscyamus	M-09	Mimosa	D-04
Hyssopus	H-06	Mykania	C-43
I.		Myrcia	P-09
Ilex	E-13	Myroxylon	O-01
Illicium	B-02	Myroxylum	B-04
Indigofera	I-04	Myrtus	M-16
Inula	E-04	N.	
Iris	L-03	Nectandra	C-16
J.		O.	
Jacaranda	C-21	Oxalis	A-28
Joannesia	C-50	P.	
Juniperus	Z-02	Panax	P-02
K.		Papaver	D-05
Krameria	R-01	Parietaria	F-08
L.		Parietaria	P-04
Lantana	C-12	Periandra	A-09
Lavandura	A-13	Perianthopodus	T-09
Lemna	L-02	Petiveria	G-12
Leonotis	C-57	Petiveria	P-13
Leonurus	E-12	Petiveria	T-08
Lepidium	M-11	Pfaffia	P-10
Leucas	C-31	Phoenix	T-03
Lippia	F-01	Phyllanthus	Q-02
Lisianthus	G-04	Physalis	C-11
Lobelia	L-09	Physalis	J-09
Lochnera	V-07	Picramia	C-13
Lonicera	M-03	Picrolemma	C-05
Luffa	C-02	Pimpinella	A-19
M.		Pimpinella	E-11
Malva	M-04	Pinus	C-52
Marsdenia	C-53	Piper	A-21
Marsypianthes	H-08	Piper	C-62
Matricaria	C-14	Piper	M-08
Maytenus	E-17	Piptadenia	A-18

Pithecolobium	J-11	Sida	V-02
Pittosporum	I-03	Simaruba	M-06
Plantago	T-04	Siparuna	L-04
Pluchea	Q-07	Smilax	J-05
Plumeria	A-05	Smilax	S-02
Pneumus	B-13	Solanum	E-14
Policarpus	J-01	Solanum	F-06
Policourea	D-06	Solanum	J-12
Polygala	P-16	Solanum	L-08
Polygonum	E-08	Sonchus	S-06
Portulaca	B-10	Spigentia	L-10
Pothomorphe	C-01	Stachys	H-07
Pothomorphe	P-05	Stachytarphetta	G-05
Protium	E-01	Stenocalyx	C-07
Prunos	A-01	Stenolobium	I-07
Pteridium	S-04	Stevia	E-18
Q.		Strychnus	N-02
Quassia	Q-01	Stylax	B-11
Quercus	C-25	Styphnodendron	B-06
Quilaja	Q-04	Symphytum	C-54
R.		Syzygium	C-61
Rauwolfia	C-27	T.	
Rauwolfia	R-02	Tabebuia	I-08
Remijia	Q-06	Tachia	C-06
Renealmia	P-01	Tagetes	C-60
Rhamnus	C-28	Tanacetum	C-32
Rhamnus	C-39	Taraxacum	D-03
Rosa	R-03	Taxus	T-06
Rosmarinus	A-11	Thuja	T-12
Ruta	A-25	Tilia	T-07
S.		Toluifera	B-05
Salvia	S-03	Torresa	I-02
Sambucus	S-01	Trema	O-02
Schinus	A-23	Trianosperma	C-03
Schoenocaulon	C-40	Trigonella	F-04
Senecio	C-42	Tropaeolum	C-18
Sida	C-19	Turnera	D-01

Tynnathus	C-46
Typha	T-01
U.	
Urena	G-11
Urtica	U-02
V.	
Valeriana	V-01
Verbena	V-05
Vernonia	A-26
Vernonia	B-12
Viburnum	V-06
Villaresia	C-55
Vitex	T-05
X.	
Xanthium	H-02
Z.	
Zornia	U-01

第4章. 索引

4-3. 科名検索

A.

Alismataceae	オモダカ
Amaranthaceae	ヒユ
Amaryllidaceae	ヒガンバナ
Anacardiaceae	ウルシ
Apocynaceae	キョウチクトウ
Aquifoliaceae	モチノキ
Araliaceae	ウコギ
Aristolochiaceae	ウマノスズクサ
Asclepiadaceae	ガガイモ

B.

Bignoniaceae	ノウゼンカズラ
Boraginaceae	ムラサキ
Burseraceae	カンラン

C.

Campanulaceae	キキョウ
Caprifoliaceae	スイガズラ
Celastraceae	ニシキギ
Chenopodiaceae	アカザ
Commelinaceae	ツユクサ
Compositae	キク
Convolvulaceae	ヒルガオ
Crassulaceae	ベンケイソウ
Cucurbitaceae	ウリ
Cupressaceae	ヒノキ
Curciferaceae	アブラナ
Cyperaceae	カヤツリグサ

E.

Equisetaceae	トクサ
Ericaceae	ツツジ
Erythroxylaceae	コカノキ
Escrofurariaceae	ゴマノハグサ
Euphorbiaceae	トウダイグサ

F.

Fagaceae	ブナ
Flacourtiaceae	イイギリ

G.

Gentianaceae	リンドウ
Gramineae	イネ

H.

Hamamelidaceae	マンサク
----------------	------

I.

Icacinaceae	クロタキカズラ
Iridaceae	アヤメ

L.

Labiadae	シソ
Lauraceae	クスノキ
Lecythidaceae	サガリバナ
Leguminosae	マメ
Lemnaceae	ウキクサ
Liliaceae	ユリ
Loganiaceae	フジウツギ
Lythraceae	ミソハギ

M.

Magnoliaceae	モクレン
Malvaceae	アオイ
Menispermaceae	ツツラフジ
Monimiaceae	モニミア
Moraceae	クワ
Myrtaceae	フトモモ

N.

Nyctaginaceae	オシロイバナ
---------------	--------

O.

Oxalidaceae	カタバミ
-------------	------

P.

Pamaceae	ヤシ
Papaveraceae	ケシ
Phytolaccaceae	ヤマゴボウ
Piperaceae	コショウ
Pittosporaceae	トベラ

P. (続き)	
Plantaginaceae	オオバコ
Polygalaceae	ヒメハギ
Polygonaceae	タデ
Polypodiaceae	ウラボシ
Portulacaceae	スベリヒユ
Pteidaceae	ワラビ
R.	
Ranunculaceae	キンポウゲ
Rhamnaceae	クロウメモドキ
Rosaceae	バラ
Rutaceae	ミカン
Rutaceae	アカネ
S.	
Sapindaceae	ムクロジ
Sapotaceae	アカテツ
Simaroubaceae	ニガキ
Solanaceae	ナス
Sterculiaceae	アオギリ
Stylacaceae	エゴノキ
T.	
Taxaceae	イチイ
Tiliaceae	シナノキ
Tropaeolaceae	ノウゼンハレン
Turneraceae	ターネラ
Typhaceae	ガマ
U.	
Ulmaceae	ニレ
Umbeliferae	セリ
Urticaceae	イラクサ
V.	
Valerianaceae	オミナエシ
Verbenaceae	クマツツラ
Violaceae	スミレ
Z.	
Zingiberaceae	ショウガ
Zygophyllaceae	ハマビシ



< 追補 > 薬用成分のある果実、野菜、香辛料作物

無農薬、無化学肥料で栽培された果実、野菜および香辛料作物の一部は、生薬の原材料となる。果実以外に、葉、花、樹皮、種実等が利用できる。化学成分らんにビタミン、ミネラル類は、記載しなかったが、当然含まれている。温帯果実、野菜でよく知られているものは除外した。

果-01. Abacate (学 *Persea americana*, クスノキ科, Lauraceae)

別名	英 Avocado
生態性状	中米原産。熱帯、亜熱帯で栽培。砂の多い土壌を好む。
利用部位	葉、花、果実、樹皮
化学成分	精油
薬効	肝、腎炎、胃腸炎、生理閉止、リウマチ、痛風、歯肉炎
用法用量	3%のお茶、日量 100ml。口内炎、催吐目的には生葉をかむ。

果-02. Abacaxi (学 *Ananas sativus*, パイナップル科, Bromeliaceae)

別名	ス、Pina, Ananas 英、Pineapple
生態性状	熱帯作物。排水のよい肥沃な砂土を好む。
利用部位	果実
化学成分	酵素(Bromelina)
薬効	消化促進
用法用量	生食。

果-03. Abiu (学 *Pouteria caimito*, アカテツ科, Sapotaceae)

別名	Abi, Abiiba, Abiu-grande, Caimito
生態性状	ペルーの熱帯地方原産。ブラジルでは河川沿岸の肥沃地に栽培。
利用部位	果実、種子
化学成分	精油、タンニン
薬効	肺、気管支炎、内耳炎、耳痛
用法用量	お茶。耳炎の場合は、温めた種子油を外用。

果-04. Abriçó (学 *Mammea americana*, オトギリソウ科, *Guttiferae*)

別 名 Abriçó-do-pará, Abriçó-de-são-domingo, Abriçó-selvagem  
生態性状 中米原産。高温多湿を好む。リオ以北の海岸地帯に栽培。  
利用部位 果実  
化学成分 精油  
薬 効 高血圧、結石除去 動脈硬化症  
用法用量 生食

果-05. Acerola (学 *Malpighia glabra*, キントラノオ科, *Malpighiaceae*)

別 名 Cerejeira-das-antilhas, 英 Barbados cherry  
生態性状 中米原産のカン木。ビタミンCは果実中最高。高温中湿を好む。  
利用部位 果実、樹皮  
化学成分 タンニン  
薬 効 カゼ、気管支炎、糖尿病、肝臓炎、リウマチ、熱性疾患  
用法用量 生食(果汁)。樹皮は、お茶。

果-06. Amapá (学 *Parahancornia amapa*, キョウチクトウ科, *Apocynaceae*)

別 名  
生態性状 パラー州に多く見られる。  
利用部位 樹皮(ラテックス)  
化学成分 精油  
薬 効 気管支炎 肺炎、喘息、外傷の治療  
用法用量 内服の詳細不明。外傷にはラテックスをぬる。

果-07. Ameixa (学 *Prunus domestica*, バラ科, *Roseaceae*)

別 名  
生態性状 欧州、中国原産あり。南部高原に順化。肥沃で排水のよい土地。  
利用部位 果実  
化学成分 精油  
薬 効 下剤(特に便秘の)、痛風、動脈硬化症、風邪引き  
用法用量 30 gの果肉を1/2 lの熱湯にいれて飲む。お茶。

果-08. Amêndoa (学 *Amygdalus communis*, バラ科, Rosaceae)

別名	Amêndoa-de-coco, Amêndoa-durazio, Amêndoa-molar
生態性状	アフリカ、Tigre, Eufrates 河にはさまれたメソポタミア地方原産。
利用部位	果実
化学成分	精油
薬効	胃酸過多、胃潰瘍、気管支炎、腎臓膀胱結石 (胆石を除く)
用法用量	ナッツをすりつぶし、葉野菜青汁、牛乳、オレンジ果汁と混合。

果-09. Amora-do-mato (学 *Helicostylis tomentosa*, クワ科, Moraceae)

別名	
生態性状	アマゾニアから東南部海岸地帯に自生。
利用部位	果実
化学成分	精油
薬効	貧血、胃潰瘍、食欲不振
用法用量	生食

果-10. Amora-negra (学 *Morus nigra*, クワ科, Moraceae)

別名	Amora-preta
生態性状	イラン、コーカサス原産。ブラジル南部各地に栽培。
利用部位	根の皮、葉、果実
化学成分	精油
薬効	糖尿病、腎炎、リウマチ、痛風、関節炎
用法用量	ニンニク、タマネギをすりこんだお茶

果-11. Araça (学 *Psidium littorale*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名	樹は Araçazeiro。
生態性状	カン木。
利用部位	葉、果実
化学成分	精油
薬効	痔疾、下痢どめ
用法用量	お茶、外用

果-12. Araticum (学 *Annona crassiflora*, バンレイシ科, Annonaceae)

別名	Araticum-cortiça, Marolo
生態性状	セラーダ原産。大型果実(2kgに達する)
利用部位	果実、種子
化学成分	精油
薬効	リウマチ、腫瘍、収れん剤、抗ケンレン剤
用法用量	お茶、生食

果-13. Avela (学 *Corylus avellana*, カバノキ科, Betulaceae)

別名	Abellana, Noz-de-abela。樹、Avelaneira。
生態性状	北半球温帯原産。
利用部位	葉、果実
化学成分	精油
薬効	腸の腫瘍、外傷洗浄
用法用量	お茶、外用

果-14. Bacuri (学 *Plantonia insignis*, オトギリソウ科, Guttiferae)

別名	Bacurizeiro, Ibacurupari
生態性状	樹高15-20m。南米北部原産。
利用部位	ナッツ
化学成分	精油
薬効	皮膚病一般
用法用量	外用

果-15. Bergamota (学 *Citrus bergamia*, ミカン科, Rutaceae)

別名	
生態性状	イタリアに多く栽培され、果皮から精油を得る。
利用部位	果実、果皮
化学成分	精油
薬効	鎮静、消毒剤、駆虫剤
用法用量	お茶

果-16. Cajá-manga (学 *Spondia dulcis*, ウルシ科, Anacardiaceae)

別名 Cajarana, Tapereba, Taperebe-de-sertão  
生態性状 オーストラリア原産。15-20mの高木。ブラジル北部で栽培。  
利用部位 果実、根、樹皮  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 下痢どめ、鎮静剤、ノドの炎症  
用法用量 お茶 (花も利用)

果-17. Caju (学 *Anacardium occidentale*, ウルシ科, Anacardiaceae)

別名 Acajuiba, Caju-de-campo, 英 Cashew-nut tree,  
生態性状 ブラジル北部原産。12-15mの高木。  
利用部位 果実、ナッツ、樹皮  
化学成分 精油  
薬効 利尿、皮膚病、潰瘍  
用法用量 お茶

果-18. Carambola (学 *Averrhoa carambola*, カタバミ科, Oxalidaceae)

別名 Averroa, Camerunga  
生態性状 インド、マレーシア原産。ブラジル南東部以北で栽培。  
利用部位 葉、果実  
化学成分 精油  
薬効 熱性疾患、鎮静 (花) 虫のさし傷 (葉)  
用法用量 お茶、外用

果-19. Fruta-pão (学 *Artocarpus incisa*, クワ科, Moraceae)

別名 パンノキ, 英 Bread fruit tree  
生態性状 太平洋諸島原産。  
利用部位 根、葉  
化学成分 精油、タンニン  
薬効 駆虫剤 (根) 下痢どめ (葉) 脚気、リユーマチ  
用法用量 お茶、外用

果-20. Goiaba (学 *Psidium guayava*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名	Araca-das-almas, Goiaba-maca, Guaiba, Guaiava
生態性状	ブラジル原産。温帯でも栽培可能。
利用部位	葉、果実、樹皮
化学成分	精油
薬効	収れん剤、消化剤、利尿、下痢
用法用量	お茶

果-21. Graviola (学 *Annona muricata*, バンレイシ科, Annonaceae)

別名	Araticum-manso, Jaca-do-para, Coracao-de-rainha
生態性状	中米原産。ブラジル東北地方に半野生状態。
利用部位	葉、花、果実
化学成分	精油
薬効	利尿、収れん、解熱、神経痛、リウマチ
用法用量	果汁、お茶、外用（オリーブ油と果肉をねりあわす）

果-22. Guarana (学 *Paullinia cupana*, ムクロジ科, Sapindaceae)

別名	Guaranazeiro
生態性状	ブラジル原産のツル性植物。
利用部位	種実
化学成分	カフェイン（4%以上）
薬効	興奮剤、利尿
用法用量	茶さじ 1杯の粉末を水とともに飲む。

果-23. Ingá (学 *Inga cinnamomea/affinis*, マメ科, Leguminosae)

別名	Ingá-açu, Ingá-doce,
生態性状	アマゾン原産。
利用部位	果実、果皮
化学成分	タンニン、精油
薬効	整腸剤、下痢止め、外傷
用法用量	お茶

果-24. Jabuticaba (学 *Myrciaria cauliflora*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名	Jabuticabeira
生態性状	ブラジル東南部原産。排水のよい肥沃な土壌を好む。
利用部位	果皮
化学成分	タンニン
薬効	収れん剤、喘息、下痢
用法用量	お茶

果-25. Jaca (学 *Artò integra*, クワ科, Moraceae)

別名	Jaqueira
生態性状	アジア原産だが、ブラジルによく順化している。
利用部位	樹皮、種子
化学成分	タンニン、樹脂
薬効	収れん剤、整腸(種子)
用法用量	お茶

果-26. Jambolão (学 *Eugenia jambolana*, フトモモ科, Myrtaceae)

別名	Jamelão, Jalão
生態性状	アジア原産なるもブラジルによく普及。
利用部位	果皮、種子
化学成分	精油
薬効	糖尿病、下痢、出血
用法用量	お茶

果-27. Jatobá (学 *Hymenaea caubaril*, マメ科, Leguminosae)

別名	Jataí, Jutaí, Jassaí, Jutaici
生態性状	Amazonia⇒S. Paulo 原産。粘土質土壌を好む。
利用部位	樹皮、樹脂
化学成分	粘質物、樹脂
薬効	収れん剤、前立腺肥大、呼吸器疾患、駆虫剤
用法用量	お茶

果-28. Jenipapo (学 *Genipa americana*, アカネ科, Rubiaceae)

別名	Jenipa, Janipapo, Janipapeiro
生態性状	熱帯アメリカ原産。Para⇒S. Paulo に自生、栽培。河川沿岸。
利用部位	果実、樹皮、葉、根
化学成分	タンニン、精油
薬効	利尿、収れん、下剤、胃炎
用法用量	お茶

果-29. Mamao (学 *Carica papaya*, パパイア科, Caricaceae)

別名	Papaia
生態性状	熱帯アメリカ原産。排水のよい肥沃地。強風に弱い。
利用部位	葉、花、果実、根
化学成分	精油、
薬効	下剤、利尿、駆虫剤、強心剤、老人病
用法用量	お茶、ラテックス (駆虫)

果-30. Manga (学 *Mangifera indica*, ウルシ科, Anacardiaceae)

別名	Mangueira
生態性状	インド原産なるもブラジルで広く栽培。乾期のある高温高湿。
利用部位	葉、果実、樹皮
化学成分	精油、タンニン
薬効	利尿、収れん、タン切り
用法用量	お茶

果-31. Maracujá (学 *Passiflora* spp トケイソウ科, Passifloraceae)

別名	Passion fruit, パッション フルーツ
生態性状	ブラジル原産。高温高湿を好む。
利用部位	葉、根
化学成分	精油
薬効	鎮静、収れん、駆虫剤、痛風
用法用量	お茶



果-32. Pequi (学 *Caryocar brasiliense*, カリオカル科, Caryocaraceae)

別 名 Pequizeiro  
生態性状 セラード原産。  
利用部位 樹皮  
化学成分 タンニン  
薬 効 利尿、解熱  
用法用量 お茶

果-33. Pitanga (学 *Eugenia uniflora/michellii*, フトモモ科, Myrtaceae)

別 名 Ibipitanga, Pitangatuba  
生態性状 ブラジル原産。高温高湿、排水のよい肥沃な砂質土壌を好む。  
利用部位 葉、果実  
化学成分 精油  
薬 効 鎮静、収れん、リウマチ、下痢、呼吸器疾患  
用法用量 お茶、果汁

果-34. Sapoti (学 *Achras zapota*, アカテツ科, Sapotaceae)

別 名 Nispero, Pero, Ovo-vegetal, Sapodilho  
生態性状 メキシコ、中米原産。ブラジル海岸、東北地方に多い。  
利用部位 果実、種子、樹皮  
化学成分 精油、タンニン  
薬 効 利尿、収れん、解熱  
用法用量 お茶

果-35. Tamarindo (学 *Tamarindus indica*, マメ科, Leguminosae)

別 名 Tamarineiro, Tamarina  
生態性状 熱帯アフリカ原産。  
利用部位 果実  
化学成分 精油  
薬 効 緩下剤、鎮静、解熱、便秘  
用法用量 お茶

野-01. Alcachofra (学 *Cynara scolymus*, キク科, Compositae)

別名	Cachofra, 英 Artichoke, アーティチョーク
生態性状	地中海沿岸原産。サンパウロ近郊で野菜として栽培。100-140日。
利用部位	葉、花托
化学成分	フラボノイド、精油
薬効	肝機能強化、胆汁の分泌促進、利尿、痛風
用法用量	お茶

野-02. Beldroega (学 *Portulaca halimoides*, スベリヒユ科, Portulacaceae)

別名	スベリヒユ
生態性状	野草。葉を食用。
利用部位	葉、種子
化学成分	精油
薬効	下剤、生理促進、駆虫剤(種子)、外傷
用法用量	お茶

野-03. Cará (学 *Dioscorea* spp, ヤマノイモ科, Dioscoreaceae)

別名	Inhame
生態性状	アフリカ原産。サトイモ科(Araceae)と混同あり。
利用部位	イモ
化学成分	粘質物
薬効	回復期患者の健康増進
用法用量	普通調理

野-04. Chuchu (学 *Sechium edule*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名	Machucho, Machite, Maniche, ハヤトウリ
生態性状	メキシコ、中米原産。ブラジルでは通年生産。肥沃な砂土を好む。
利用部位	種実
化学成分	精油
薬効	利尿、高血圧、
用法用量	普通調理

野-05. Couve (学 *Brassica oleracea*, アブラナ科, Cruciferae)

別名	Couve-manteiga
生態性状	欧州原産。有機物の多い砂地がよい。葉をかきとって利用。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	強壯(老人、小児向け) 消化器潰瘍、肝炎、気管支炎、痛風
用法用量	青汁、お茶

野-06. Gengibre (学 *Zingiber officinalis*, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名	Gingibre, Mangarataia
生態性状	アジア原産。14世紀にブラジルへ。亜熱帯気候に好適。
利用部位	根
化学成分	精油
薬効	呼吸器疾患、リウマチ、神経痛
用法用量	生、お茶、外用(すりおろし)

野-07. Jit6 (学 *Solanum giro*, ナス科, Solanaceae)

別名	Jinjilo
生態性状	起源不詳(アフリカ、南米)
利用部位	果実
化学成分	精油
薬効	肝炎、カゼ、解熱
用法用量	生または普通調理

野-08. Mandioca (学 *Manihot utilissima*, トウダイグサ科, Eupobiaceae)

別名	Aipim, Aipicaba, Macaxera, Mandiba, Manipeba
生態性状	南米の高温高湿地帯原産。肥沃な砂地を好む。
利用部位	根
化学成分	精油、
薬効	リウマチ、関節炎、回復期患者
用法用量	外用、普通調理

野-09. Maxixe (学 *Cucumis anguris*, ウリ科, Cucurbitaceae)

別名	Maxixo, Pepino-espinhoso
生態性状	アフリカ原産。20-28 °Cの気温帯、肥沃な砂質土壌を好む。
利用部位	果実
化学成分	精油
薬効	前立腺炎、コレステロール除去、外傷のウミ
用法用量	サラダ、青汁。外用

野-10. Quiabo (学 *Hibiscus esculentus*, アオイ科, Malvaceae)

別名	オクラ, 英 Okra
生態性状	インド原産。エチオピア、エジプト、中米をへてブラジルへ。
利用部位	種実、花、葉
化学成分	精油
薬効	肺炎、気管支炎
用法用量	普通調理、お茶

野-11. Rucula (学 *Eruca sativa*, アブラナ科, Cruciferae)

別名	Pinchao
生態性状	地中海沿岸原産。高温に弱い。
利用部位	葉
化学成分	精油
薬効	利尿、貧血、肝、腎炎
用法用量	青汁、サラダ、モヤシ(発芽後21°Cで6日間)

野-12. Taioba (学 *Colocasia antiquorum*, サトイモ科, Araceae)

別名	Taiarana, Taja-acu, Mangarito
生態性状	熱帯アメリカ原産。低湿地を好む。
利用部位	葉、イモ
化学成分	精油
薬効	貧血、回復期患者
用法用量	普通調理

香-01. Cardamomo (学 *Elleteria cardamomum*, ショウガ科, Zingiberaceae)

別名 英 Cardamom, Cardamum, カルダモン  
生態性状 セイロン原産。  
利用部位 種子  
化学成分 精油、樹脂、色素体  
薬効 強壯剤、腸内ガスぬき、消化不良  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml。

香-02. Capuchinha (学 *Tropaeolum majus*, ノウゼンハレン科, Tropaeolaceae)

別名 キンレンカ、ノウゼンハレン (園芸用品種)  
生態性状 アンデス原産。流通面で *Alcaparra* (学 *Capparis spinosa*) と混同。  
利用部位 花ツボミ  
化学成分 精油  
薬効 強壯剤  
用法用量 お茶

香-03. Coentro (学 *Coriandrum sativum*, セリ科, Umbereiferae)

別名 Cheiro-verde 英 Coriandar, コリアンダー  
生態性状 欧州南部原産。北、東北地方料理によく利用する。  
利用部位 葉、種子  
化学成分 精油  
薬効 消化剤、下痢、腸のはれ  
用法用量 お茶

香-04. Cominho (学 *Cuminum cyminum*, セリ科, Umberiferae)

別名 英 Cumin, クミン  
生態性状 アフリカ原産。1年生草本。東北地方料理によく利用。  
利用部位 種実  
化学成分 精油、フラボノイド  
薬効 腸内ガス、消化促進、母乳増加、乳房や睾丸のはれ  
用法用量 お茶

香-05. Manjerona (学 *Origanum majorana*, シソ科, Labiatae)

別名 Amaraco, 英 Majorum, マジョラム  
生態性状 欧州原産。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 食欲増進、消化剤、胃炎、筋肉痛  
用法用量 2%のお茶 日量 200ml

香-06. Raiz-forte (学 *Armoracia rusticana*, アブラナ科, Cruciferae)

別名 英 Horse-radish, ワサビダイコン  
生態性状 欧州原産の多年生草本。  
利用部位 根  
化学成分 精油  
薬効 食欲増進、利尿、下剤  
用法用量 お茶

香-07. Segurelha (学 *Satureja hortensis*, シソ科, Labiatae)

別名 Segurelha-de-verão, 英 Savory, セイボリー  
生態性状 欧州原産。Segurelha-de-inverno (学 *S. montana*)は多年生。  
利用部位 葉  
化学成分 精油  
薬効 消化剤、食欲増進、強壯剤  
用法用量 お茶

香-08. Tomilho (学 *Thymus vulgaris*, シソ科, Labiatae)

別名 Serpão, Serpilha, 英 Thyme, タイム  
生態性状 欧州原産。  
利用部位 葉、花、  
化学成分 精油  
薬効 消化器、呼吸器病、痛風、リウマチ  
用法用量 お茶、外用

版 圖







A-03.  
Aconitum (学 *Aconitum napellus*)  
キンボウゲ科, Ranunculaceae



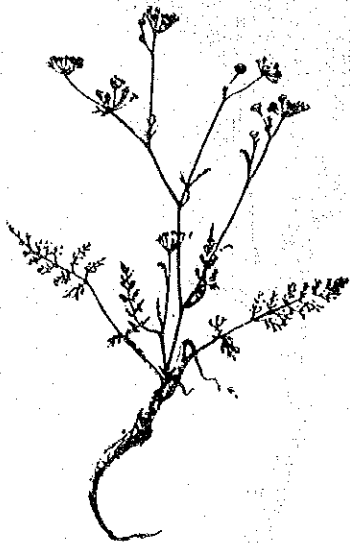
A-04.  
Adonis (学 *Adonis vernalis*)  
キンボウゲ科, Ranunculaceae



A-07.  
Agrimonia (学 *Agrimonia eupatoria*)  
バラ科, Rosaceae



A-08.  
Alcachofra (学 *Cynara scolymus*)  
キク科, Compositae



A-10.  
Alcaravia(学 *Carum carvi*)  
セリ科, Umbeliferae



A-11.  
Alecrim(学 *Rosmarinus officinalis*)  
シソ科, Labiatae



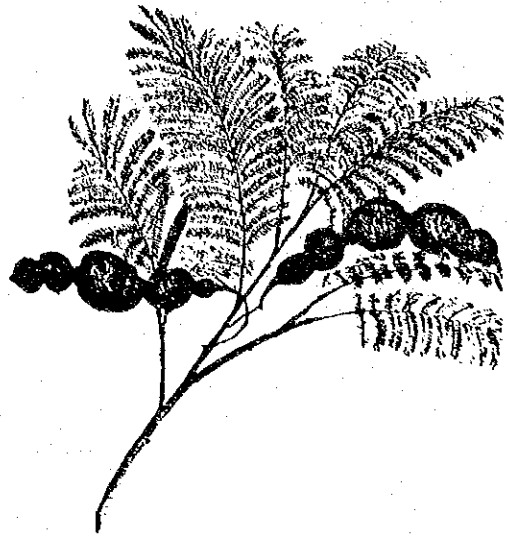
A-00.  
Alfavaca (学 *Ocimum basilicum*)  
シソ科, Labiatae



A-13.  
Alfazema (学 *Lavandura spica*)  
シソ科, Labiatae



A-14.  
 Altéia (学 *Althaea officinalis*)  
 アオイ科, Malvaceae



A-18.  
 Angico (学 *Piptadenia colubrina*)  
 マメ科, Leguminosae



A-22.  
 Arnica (学 *Arnica montana*)  
 キク科, Compositae



A-25.  
 Arruda (学 *Ruta graveolens*)  
 ミカン科, Rutaceae